

第八條 代理權ヲ有セザル者ガ代理人トシテ爲替手形ニ署名シタルトキハ自ラ其ノ手形ニ因リ義務ヲ負フ其ノ者ガ支拂ヲ爲シタルトキハ本人ト同一ノ權利ヲ有ス權限ヲ超エタル代理人ニ付亦同ジ

第九條 振出人ハ引受及支拂ヲ擔保ス
振出人ハ引受ヲ擔保セザル旨ヲ記載スルコトヲ得支拂ヲ擔保セザル旨ノ一切ノ文言ハ之ヲ記載セザルモノト看做ス

第十條 未完成ニテ振出シタル爲替手形ニ豫メ爲シタル合意ト異ル補充ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ違反ハ之ヲ以テ所持人ニ對抗スルコトヲ得ズ但シ所持人ガ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リ爲替手形ヲ取得シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二章 裏書

第十一條 爲替手形ハ指圖式ニテ振出ザルトキト雖モ裏書ニ依リテ之ヲ讓渡スコトヲ得

振出人ガ爲替手形ニ「指圖禁止」ノ文字又ハ之ト同一ノ意義ヲ有スル文言ヲ記載シタルトキハ其ノ證券ハ指名債權ノ讓渡ニ關スル方式ニ從ヒ且其ノ效力ヲ以テノミ之ヲ讓渡スコトヲ得
裏書ハ引受ヲ爲シタル又ハ爲ザル支拂人、振出人其ノ他ノ債務者ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得此等ノ者ハ更ニ手形ヲ裏書スルコトヲ得

第十二條 裏書ハ單純ナルコトヲ要ス裏書ニ附シタル條件ハ之ヲ記載セザルモノト看做ス

一部ノ裏書ハ之ヲ無效トス
持參人拂ノ裏書ハ白地式裏書ト同一ノ效力ヲ有ス

第十三條 裏書ハ爲替手形又ハ之ト結合シタル紙片(補筆)ニ之ヲ記載シ裏書人署名スルコトヲ要ス
裏書ハ被裏書人ヲ指定セズシテ之ヲ爲

シ又ハ單ニ裏書人ノ署名ノミヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得(白地式裏書)此ノ後ノ場合ニ於テハ裏書ハ爲替手形ノ裏面又

ハ補箋ニ之ヲ爲スニ非ザレバ其ノ效力ヲ有セズ

第十四條 裏書ハ爲替手形ヨリ生ズル一切ノ權利ヲ移轉ス
裏書ガ白地式ナルトキハ所持人ハ自己ノ名稱又ハ他人ノ名稱ヲ以テ白地ヲ補充スルコトヲ得

二、白地式ニ依リ又ハ他人ヲ表示シテ更ニ手形ヲ裏書スルコトヲ得
三、自地ヲ補充セズ且裏書ヲ爲サズシテ手形ヲ第三者ニ譲渡スコトヲ得

第十五條 裏書人ハ反對ノ文言ナキ限り引受及支拂ヲ擔保ス
三、自地ヲ補充セズ且裏書ヲ爲サズシテ手形ヲ第三者ニ譲渡スコトヲ得

此ノ場合ニ於テハ其ノ裏書人ハ手形ノ爾後ノ被裏書人ニ對シ擔保ノ責ヲ負フコトナシ

第十六條 爲替手形ノ占有者ガ裏書ノ連續ニ依リ其ノ權利ヲ證明スルトキハ之ヲ適法ノ所持人ト看做ス最後ノ裏書ガ白地式ナル場合ト雖モ亦同ジ抹消シタル裏書ハ此ノ關係ニ於テハ之ヲ記載セザルモノト看做ス白地式裏書ニ次テ他人ノ裏書アルトキハ其ノ裏書ヲ爲シタル者ハ白地式裏書ニ因リテ手形ヲ取得シタルモノト看做ス

第十七條 爲替手形ニ依リ請求ヲ受ケタル者ハ其ノ裏書アルトキハ其ノ裏書ヲ爲シタルトキハ返還スル義務ヲ負フコトナシ但シ所持人ガ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リ之ヲ取得シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十八條 裏書ニ「回收ノ爲」、「取立ノ爲」、「代理ノ爲」其ノ他單ナル委任ヲ示ス文言アルトキハ所持人ハ爲替手形ヨリ生ズル一切ノ權利ヲ行使スルコトヲ得

第十九條 裏書ニ「擔保ノ爲」「質入ノ爲」其ノ他質權ヲ設定ヲ示ス文言アルトキハ所持人ハ爲替手形ヨリ生ズル一切ノ權利ヲ行使スルコトヲ得但シ所持人ノ爲シタル裏書ハ代理ノ爲ノ裏書トシテノ效力ミヲ有ス

債務者ハ裏書人ニ對スル人の關係ニ基ク抗辯ヲ以テ所持人ニ對抗スルコトヲ得ズ但シ所持人ガ其ノ債務者ヲ害スルコトヲ知リテ手形ヲ取得シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二十條 滿期後ノ裏書ハ滿期前ノ裏書作成後ノ裏書又ハ支拂拒絶證書作成期間經過後ノ裏書ハ指名債權ノ讓渡ノ效力ノミヲ有ス

第二十一條 爲替手形ノ所持人又ハ單ナル占有者ハ満期ニ至ル迄引受ノ爲支拂人ニ其ノ住所ニ於テ之ヲ呈示スルコト得

第二十二條 振出人ハ爲替手形ニ期間ヲ定メ又ハ定メズシテ引受ノ爲之ヲ呈示ス

ノ債務者ヲ害スルコトヲ知リテ手形ヲ取得シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十九條 裏書ニ「擔保ノ爲」「質入ノ爲」其ノ他質權ヲ設定ヲ示ス文言アルトキハ所持人ハ爲替手形ヨリ生ズル一切ノ權利ヲ行使スルコトヲ得但シ所持人ノ爲シタル裏書ハ代理ノ爲ノ裏書トシテノ效力ミヲ有ス

債務者ハ裏書人ニ對スル人の關係ニ基ク抗辯ヲ以テ所持人ニ對抗スルコトヲ得ズ但シ所持人ガ其ノ債務者ヲ害スルコトヲ知リテ手形ヲ取得シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二十條 滿期後ノ裏書ハ指名債權ノ讓渡ノ效力ノミヲ有ス

第二十一條 爲替手形ノ所持人又ハ單ナル占有者ハ満期ニ至ル迄引受ノ爲支拂人ニ其ノ住所ニ於テ之ヲ呈示スルコト得

第二十二條 振出人ハ爲替手形ニ期間ヲ定メ又ハ定メズシテ引受ノ爲之ヲ呈示ス

スベキ旨ヲ記載スルコトヲ得

振出人ハ手形ニ引受ノ爲ノ呈示ヲ禁スル旨ヲ記載スルコトヲ得但シ手形ガ第

三者方ニテ若ハ支拂人ノ住所地ニ非ザル地ニ於テ支拂フベキモノナルトキ又ハ一覽後定期拂ナルトキハ此ノ限ニ在ラズ

各裏書人ハ期間ヲ定メ又ハ定メズシテ引受ノ爲手形ヲ呈示スベカラザル旨ヲ記載スルコトヲ得但シ振出人ガ引受ノ爲ノ呈示ヲ禁ジタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二十三條 一覽後定期拂ノ爲替手形ハ其ノ日附ヨリ一年内ニ引受ノ爲之ヲ呈示スルコトヲ得

振出人ハ前項ノ期間ヲ短縮シ又ハ伸長スルコトヲ得

裏書人ハ前二項ノ期間ヲ短縮スルコトヲ得

振出人ハ前項ノ期間ヲ短縮シ又ハ伸長スルコトヲ得

裏書人ハ前二項ノ期間ヲ短縮スルコトヲ得

第二十四條 支拂人ハ第一ノ呈示ノ翌日ニ第二ノ呈示ヲ爲スベキコトヲ請求スルコトヲ得利害關係人ハ此ノ請求ガ拒絶證書ニ記載セラレタルトキニ限リ之ニ應ズル呈示ナカリシコトヲ主張スルコトヲ得

所持人ハ引受ノ爲ニ呈示シタル手形ヲ支拂人ニ交付スルコトヲ要セズ

第二十五條 引受ハ爲替手形ニ之ヲ記載スベシ引受ハ「引受」其ノ他之ト同一ノ意義ヲ有スル文字ヲ以テ表示シ支拂人ノ單ナル署名ハ之ヲ引受ト看做ス

人ノ單ナル署名ハ之ヲ引受ト看做ス

一覽後定期拂ノ手形又ハ特別ノ記載

從ヒ一定ノ期間内ニ引受ノ爲ノ呈示ヲ爲スベキ手形ニ於テハ所持人ガ呈示ノ日ノ日附ヲ記載スベキコトヲ請求シタ

ル場合ヲ除クノ外引受ニハ之ヲ爲シタル紙片(補筆)ニ之ヲ記載スルコトヲ要ス日附

ノ記載ナキトキハ所持人ハ裏書人及振

出人ニ對スル遡求權ヲ保全スル爲ニハ

適法ノ時期ニ作ラシメタル拒絶證書ニ

依リ其ノ記載ナカリシコトヲ證スルコ

トヲ要ス

第二十六條 引受ハ單純ナルベシ但シ支

拂人ハ之ヲ手形金額ノ一部ニ制限スル

コトヲ得

引受ニ依リ爲替手形ノ記載事項ニ加へ

タル他ノ變更ハ引受ノ拒絶タル效力ヲ

有ス但シ引受人ハ其ノ引受ノ文言ニ從

ヒテ責任ヲ負フ

第二十七條 振出人ガ支拂人ノ住所地ト

異ル支拂地ヲ爲替手形ニ記載シタル場合

合ニ於テ第三者方ニテ支拂ヲ爲スペキ

旨ヲ定メザリシトキハ支拂人ハ引受ヲ

爲スニ當リ其ノ第三者ヲ定ムルコトヲ

得之ヲ定メザリシトキハ引受人ハ支拂

地ニ於テ自ラ支拂ヲ爲ス義務ヲ負ヒタ

ルモノト看做ス

手形ガ支拂人ノ住所ニ於テ支拂フベキ

モノナルトキハ支拂人ハ引受ニ於テ支

拂地ニ於ケル支拂ヲ爲ス義務ヲ負ヒタ

ヲ得

第二十八條 支拂人ハ引受ニ因リ満期ニ

於テ爲替手形ノ支拂ヲ爲ス義務ヲ負

フ

支拂ナキ場合ニ於テハ所持人ハ第四十

八條及第四十九條ノ規定ニ依リテ請求

スルコトヲ得ベキ一切ノ金額ニ付引受

人ニ對シ爲替手形ヨリ生ズル直接ノ

請求權ヲ有ス所持人ガ振出人ナルトキ

ト雖モ亦同じ

第二十九條 爲替手形ニ引受ヲ記載シタ

スルコトヲ得ベキハ引受ヲ拒ミタルモノト

看做ス抹消ハ證券ノ返還前ニ之ヲ爲シ

タルモノト推定ス

前項ノ規定ニ拘ラズ支拂人ガ書面ヲ以テ所持人又ハ手形ニ署名シタル者ニ引

受ノ通知ヲ爲シタルトキハ此等ノ者ニ

對シ引受ノ文言ニ從ヒテ責任ヲ負フ

第三十條 爲替手形ノ支拂ハ其ノ金額ノ

全部又ハ一部ニ付保證ニ依リ之ヲ擔保

スルコトヲ得

第三十一條 保證ハ爲替手形又ハ補箋ニ

之ヲ爲スペシ

保證ハ「保證」其ノ他之ト同一ノ意義ヲ

有スル文字ヲ以テ表示シ保證人署名ス

ベシ

保證ハ「保證」其ノ他之ト同一ノ意義ヲ

有スル文字ヲ以テ表示シ保證人署名ス

爲替手形ノ表面ニ爲シタル單ナル署名

ハ之ヲ保證ト看做ス但シ支拂人又ハ振

出人ノ署名ハ此ノ限ニ在ラズ

保證シハ何人ノ爲ニ之ヲ爲スカヲ表示

スルコトヲ要ス其ノ表示ナキトキハ振

出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做

ス

第三十二條 保證人ハ保證セラレタル者

ト同一ノ責任ヲ負フ

保證ハ其ノ擔保シタル債務ガ方式ノ瑕

疵ヲ除キ他ノ如何ナル事由ニ因リテ無

效ナルトキト雖モ之ヲ有效トス

保證人ガ爲替手形ノ支拂ヲ爲シタルト

キハ保證セラレタル者及其ノ者ノ爲替

手形上ノ債務者ニ對シ爲替手形ヨリ生

ズル權利ヲ取得ス

第五章 滿期

第三十三條 爲替手形ハ左ノ何レカトシ

テ之ヲ振出スコトヲ得

三 日附後定期拂

四 確定日拂

一 一覽拂

二 一覽後定期拂

三 日附後定期拂

「半月」トハ十五日ノ期間ヲ謂フ

第三十七條 振出地ト暦ヲ異ニスル地ニ

於テ確定日ニ支拂フベキ爲替手形ニ付

テハ滿期ノ日ハ支拂地ノ暦ニ依リテ之

ヲ定メタルモノト看做ス

曆ヲ異ニスル二地ノ間ニ振出シタル爲

替手形ガ日附後定期拂ナルトキハ振出

ノ日ヲ支拂地ノ暦ノ應當日ニ換へ之ニ

依リテ満期ヲ定ム

第三十四條 一覽拂ノ爲替手形ハ呈示ア

リタルトキ之ヲ支拂フベキモノトス此

ノ手形ハ其ノ日附ヨリ一年内ニ支拂ノ

爲之ヲ呈示スルコトヲ要ス振出人ハ此

ノ期間ヲ短縮シ又ハ伸長スルコトヲ得

裏書人ハ此等ノ期間ヲ短縮スルコトヲ得

得振出人ハ一定ノ期日前ニハ一覽拂ノ爲

替手形ヲ支拂ノ爲呈示スルコトヲ得サ

ル旨ヲ定ムルコトヲ得此ノ場合ニ於テ

呈示ノ期間ハ其ノ期日ヨリ始マル

第三十五條 一覽後定期拂ノ爲替手形ノ

滿期ハ引受ノ日附又ハ拒絶證書ノ日附

ニ依リテ之ヲ定ム

拒絶證書アラザル場合ニ於テハ日附ナ

キ引受ハ引受人ニ關スル限り引受ノ爲

ノ呈示期間ノ末日ニ之ヲ爲シタルモノ

ト看做ス

第三十六條 日附後又ハ一覽後一月又ハ

數月拂ノ爲替手形ハ支拂ヲ爲スペキ月

ニ於ケル應當日ヲ以テ満期トス應當日

ナキトキハ其ノ月ノ末日ヲ以テ満期ト

ス

日附後又ハ一覽後一月半又ハ數月半拂

ノ爲替手形ニ付テハ先づ全月ヲ計算

ス

月ノ始月ノ央(一月ノ央二月ノ央等)

又ハ月ノ終ヲ以テ満期ヲ定メタルトキ

ハ其ノ月ノ一日十五日又ハ末日ヲ謂

フ

「八日」又ハ「十五日」トハ一週又ハ二週

ニ非ズシテ滿八日又ハ滿十五日ヲ謂

フ

第三十七條 振出地ト暦ヲ異ニスル地ニ

於テ確定日ニ支拂フベキ爲替手形ニ付

テハ滿期ノ日ハ支拂地ノ暦ニ依リテ之

ヲ定メタルモノト看做ス

暦ヲ異ニスル二地ノ間ニ振出シタル爲

替手形ガ日附後定期拂ナルトキハ振出

ノ日ヲ支拂地ノ暦ノ應當日ニ換へ之ニ

依リテ満期ヲ定ム

爲替手形ノ呈示期間ハ前項ノ規定ニ從ヒテ之ヲ計算ス

前三項ノ規定ハ爲替手形ノ文言又ハ證券ノ單ナル記載ニ依リ別段ノ意思ヲ知リ得ベキトキハ之ヲ適用セズ

第六章 支拂

第三十八條 確定日拂、日附後定期拂又ハ一覽後定期拂ノ爲替手形ノ所持人ハ支拂ヲ爲スペキ日又ハ之ニ次グニ取引

日内ニ支拂ノ爲手形ヲ呈示スルコトヲ要ス

手形交換所ニ於ケル爲替手形ノ呈示ハ支拂ノ爲ノ呈示タル効力ヲ有ス

第三十九條 爲替手形ノ支拂人ハ支拂ヲ爲スニ當リ所持人ニ對シ手形ニ受取ヲ保證スル記載ヲ爲シテ之ヲ交付スペキコトヲ請求スルコトヲ得

所持人ハ一部支拂ノ場合ニ於テハ支拂人ハ支拂アリタル旨ノ手形上ノ記載及受取證書ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

爲スニ當リ所持人ニ對シ手形ニ受取ヲ保證スル記載ヲ爲シテ之ヲ交付スペキコトヲ請求スルコトヲ得

所持人ハ一部支拂ヲ拒ムコトヲ得

第三十條 爲替手形ノ所持人ハ支拂人ハ支拂アリタル旨ノ手形上ノ記載及受取

證書ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

第三十一條 爲替手形ノ所持人ハ支拂人ハ自己ノ危

險ニ於テ之ヲ爲スモノトス

ハ其ノ支拂ヲ受クルコトヲ要セズ

支拂アリタル旨ノ手形上ノ記載及受取

證書ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

第三十二條 爲替手形ノ所持人ハ満期前ニ

ハ其ノ支拂ヲ爲ス者ハ惡意又ハ重

大ナル過失ナキ限り其ノ責ヲ免ル此ノ

者ハ裏書ノ連續ノ整否ヲ調査スル義務ナ

アルモ裏書人ノ署名ヲ調査スル義務ナ

シ

第四十一條 支拂地ノ通貨ニ非ザル通貨ヲ以テ支拂フベキ旨ヲ記載シタル爲替

手形ニ村テハ満期ノ日ニ於ケル價格ニ

依リ其ノ國ノ通貨ヲ以テ支拂ヲ爲スコ

トヲ得債務者ガ支拂ヲ遲滞シタルトキ

ハ所持人ハ其ノ選擇ニ依リ満期ノ日又

ハ支拂ノ日ノ相場ニ從ヒ其ノ國ノ通貨

ヲ以テ爲替手形ノ金額ヲ支拂フベキコトヲ請求スルコトヲ得

外國通貨ノ價格ハ支拂地ノ慣習ニ依リ

之ヲ定ム但シ振出人ハ手形ニ定メタル換算率ニ依リ支拂金額ヲ計算スベキ旨ヲ記載スルコトヲ得
前二項ノ規定ハ振出人ガ特種ノ通貨ヲ以テ支拂フベキ旨（外國通貨現實支拂文句）ヲ記載シタル場合ニハ之ヲ適用セズ
振出國ト支拂國トニ於テ同名異價ヲ有スル通貨ニ依リ爲替手形ノ金額ヲ定メタルトキハ支拂地ノ通貨ニ依リテ之ヲ定メタルモノト推定ス
第四十二條 第三十八條ニ規定スル期間内ニ爲替手形ノ支拂ノ爲ノ呈示ナキトキハ各債務者ハ所持人ノ費用及危險ニ於テ手形金額ヲ所轄官署ニ供託スルコトヲ得

期拂ノ爲替手形ノ支拂拒絶證書ハ爲替手形ノ支拂ヲ爲スベキ日又ハ之ニ次グ二取引日内ニ之ヲ作ラシムルコトヲ要ス一覽拂ノ手形ノ支拂拒絶證書ハ引受拒絶證書ノ作成ニ關シテ前項ニ規定スル條件ニ從ヒ之ヲ作ラシムルコトヲ要ス
引受拒絶證書アルトキハ支拂ノ爲ノ呈示及支拂拒絶證書ヲ要セズ
引受ヲ爲シタル若ハ爲サザル支拂人ガ支拂ヲ停止シタル場合又ハ其ノ財産ニ對スル強制執行ガ效ヲ奏セザル場合ニ於テハ所持人ハ支拂人ニ對シ手形ノ支拂ノ爲ノ呈示ヲ爲シ且拒絶證書ヲ作ラシメタル後ニ非ザレバ其ノ請求權ヲ行フコトヲ得ズ
引受ヲ爲シタル若ハ爲サザル支拂人ガ破産ノ宣告ヲ受ケタル場合又ハ引受ノ爲ノ呈示ヲ禁ジタル手形ノ振出人ガ破産ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ所持人ガ其ノ請求權ヲ行フニハ破産決定書ヲ提出スルヲ以テ足ル
第四十五條 所持人ハ拒絶證書作成ノ日ニ次グ又ハ無費用償還文句アル場合ニ於テハ呈示ノ日ニ次グ四取引日内ニ自己ノ裏書人及振出人ニ對シ引受拒絶又ハ支拂拒絶アリタルコトヲ通知スルコトヲ要ス各裏書人ハ通知ヲ受ケタル日ニ次グ二取引日内ニ前ノ通知者全員ノ名稱及宛所ヲ示シテ自己ノ受ケタル通知ヲ自己ノ裏書人ニ通知シ順次振出人ニ及ブモノトス此ノ期間ハ各其ノ通知ヲ受ケタル時ヨリ進行ス
前項ノ規定ニ從ヒ爲替手形ノ署名者ニ通知ヲ爲ストキハ同一期間内ニ其ノ保證人ニ同一ノ通知ヲ爲スコトヲ要ス裏書人ガ其ノ宛所ヲ記載セズ又ハ其ノ記載が讀ミ難キ場合ニ於テハ其ノ裏書人ノ直接ノ前者ニ通知スルヲ以テ足

通知ヲ爲スペキ者ハ適法ノ期間内ニ通知ヲ爲シタルコトヲ證明スルコトヲ要ス此ノ期間内ニ通知ヲ爲ス書面ヲ郵便ニ付シタル場合ニ於テハ其ノ期間ヲ遵守シタルモノト看做ス前項ノ期間内ニ通知ヲ爲サザル者ハ其ノ権利ヲ失フコトナシ但シ過失ニ因リテ生ジタル損害アルトキハ爲替手形ノ金額ヲ超エザル範圍内ニ於テ其ノ賠償ノ責ニ任ズ

シ合同シテ其ノ責ニ任ズ
所持人ハ前項ノ債務者ニ對シ其ノ債務
ヲ負ヒタル順序ニ拘ラズ各別又ハ共同
ニ請求ヲ爲スコトヲ得
爲替手形ノ署名者ニシテ之ヲ受戻シタ
ルモノモ同一ノ權利ヲ有ス
債務者ノ一人ニ對スル請求ハ他ノ債務
者ニ對スル請求ヲ妨げズ既ニ請求ヲ受
ケタル者ノ後者ニ對シテモ亦同ジ
第四十八條 所持人ハ遡求ヲ受クル者ニ
對シ左ノ金額ヲ請求スルコトヲ得
一 引受又ハ支拂アラザリシ爲替手形
ノ金額及利息ノ記載アルトキハ其ノ
利息
二 年六分ノ率ニ依ル満期以後ノ利息
三 拒絶證書ノ費用、通知ノ費用及其
ノ他費用
満期前ニ遡求權ヲ行フトキハ割引ニ依
リ手形金額ヲ減ズ其ノ割引ハ所持人ノ
住所地ニ於ケル遡求ノ日ノ公定割引率
(銀行率)ニ依リ之ヲ計算ス
第四十九條 爲替手形ヲ受戻シタル者ハ
其ノ前者ニ對シ左ノ金額ヲ請求スルコ
トヲ得
一 其ノ支拂ヒタル總金額
二 前號ノ金額ニ對シ年六分ノ率ニ依
リ計算シタル支拂ノ日以後ノ利息
三 其ノ支出シタル費用

ノ證明謄本及拒絶證書ヲ交付スルコト

ヲ要ス

第五十二条 遷求權ヲ有スル者ハ反対ノ記載ナキ限り其ノ前者ノ一人ニ宛テ一覽拂トシテ振出シ且其ノ者ノ住所ニ於テ支拂フベキ新手形(戻手形)ニ依リ遷

求ヲ爲スコトヲ得

戻手形ハ第四十八条及第四十九條ニ規定スル金額ノ外其ノ戻手形ノ仲立料及印紙税ヲ含ム

所持人ガ戻手形ヲ振出ス場合ニ於テハ其ノ金額ハ本手形ノ支拂地ヨリ前者ノ住所地ニ宛テ振出ス一覽拂ノ爲替手形所地ニ宛テ振出ス一覽拂手形ノ相場ニ依リ之ヲ定ム

戻手形ノ振出人ガ其ノ住所地ヨリ前者ノ住所地ニ宛テ振出ス一覽拂人ガ戻手形ノ相場ニ依リ之ヲ定ム

戻手形ハ第四十八条及第四十九條ニ規定スル金額ノ外其ノ戻手形ノ仲立料及印紙税ヲ含ム

所持人ガ戻手形ヲ振出ス場合ニ於テハ其ノ金額ハ本手形ノ支拂地ヨリ前者ノ住所地ニ宛テ振出ス一覽拂ノ爲替手形所地ニ宛テ振出ス一覽拂手形ノ相場ニ依リ之ヲ定ム

戻手形ハ第四十八条及第四十九條ニ規定スル金額ノ外其ノ戻手形ノ仲立料及印紙税ヲ含ム

其ノ他ノ不可抗力ニ因リテ妨ガラレタルトキハ其ノ期間ヲ伸長ス

所持人自己ノ裏書人ニ對シ遅滞ナク

其ノ不可抗力ヲ通知シ且爲替手形又ハ

補綴ニ其ノ通知ヲ記載シ日附ヲ附シテ

之ニ署名スルコトヲ要ス其ノ他ニ付テハ第四十五条ノ規定ヲ準用ス

不可抗力ガ止ミタルトキハ所持人ハ遲滞ナク引受又ハ支拂ノ爲手形ヲ呈示シ且必要アルトキハ拒絶證書ヲ作ラシム

ルコトヲ要ス

不可抗力ガ滿期ヨリ三十日ヲ超エテ繼續スルトキハ呈示又ハ拒絶證書ノ作成ヲ要セズシテ遷求權ヲ行フコトヲ得

一覽拂又ハ一覽後定期拂ノ爲替手形ニ付テハ三十日ノ期間ハ呈示期間ノ經過前ト雖モ所持人ガ其ノ裏書人ニ不可抗

力ノ通知ヲ爲シタル日ヨリ進行ス一覽後定期拂ノ爲替手形ニ付テハ三十日ノ期間ニ爲替手形ニ記載シタル一覽後ノ期間ヲ加フ

所持人又ハ所持人ガ手形ノ呈示若ハ拒絶證書ノ作成ヲ委任シタル者ニ付テノ單純ナル人の事由ハ不可抗力ヲ構成スルモノト認メズ

第五十三条 左ノ期間ガ經過シタルトキニ對シテハ此ノ限ニ在ラズ

一覽拂又ハ一覽後定期拂ノ爲替手形ノ呈示期間

二 引受拒絶證書又ハ支拂拒絶證書ノ作成期間

三 無費用償還文句アル場合ニ於ケル支拂ノ爲ノ呈示期間

第五十四条 法定ノ期間内ニ於ケル支拂ノ爲ノ記載シタル期間内ニ引受ノ爲替手形ノ呈示期間ノ記載アルトキハ其ノ裏書人ニ限リ之ヲ援用スルコトヲ得

第五十五条 振出人、裏書人又ハ保證人ハ豫備支拂人ヲ記載スルコトヲ得

ノ呈示ヲ爲サザルトキハ所持人ハ支拂拒絶及引受拒絶ニ因ル遷求權ヲ失フ但シ其ノ記載ノ文言ニ依リ振出人ガ引受ノ擔保義務ノミヲ免レントスル意思ヲ有シタコトヲ知リ得ベキトキハ此ノ限ニ在ラズ

裏書ニ呈示期間ノ記載アルトキハ其ノ裏書人ニ限リ之ヲ援用スルコトヲ得

第五十六条 法定ノ期間内ニ於ケル支拂ノ爲ノ記載シタル期間内ニ引受ノ爲替手形ノ呈示期間ノ記載アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

裏書ニ呈示期間ノ記載アルトキハ其ノ裏書人ニ限リ之ヲ援用スルコトヲ得

第五十七条 法定ノ期間内ニ於ケル支拂ノ爲ノ記載シタル期間内ニ引受ノ爲替手形ノ呈示期間ノ記載アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

裏書ニ呈示期間ノ記載アルトキハ其ノ裏書人ニ限リ之ヲ援用スルコトヲ得

第五十八条 法定ノ期間内ニ於ケル支拂ノ爲ノ記載シタル期間内ニ引受ノ爲替手形ノ呈示期間ノ記載アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

裏書ニ呈示期間ノ記載アルトキハ其ノ裏書人ニ限リ之ヲ援用スルコトヲ得

ハ爲替手形ノ金額ヲ超エザル範圍内ニ於テ其ノ賠償ノ責ニ任ズ

第二節 參加引受

第五十九條 參加引受ハ引受ノ爲ノ呈示

ヲ記載シタルトキハ手形ノ所持人ハ其ノ

ノ者ニ爲替手形ヲ呈示シ且拒絶證書ニ

ヲ爲スコトヲ得

爲替手形ニ支拂地ニ於ケル豫備支拂人ヲ記載シタルトキハ手形ノ所持人ハ其

ノ者ニ非ザレバ其ノ記載ヲ爲シタル者

及其ノ後者ニ對シ滿期前ニ遷求權ヲ行

フコトヲ得ズ

依リ其ノ者ガ引受ヲ拒ミタルコトヲ證

スルニ非ザレバ其ノ記載ヲ爲シタル者

及其ノ後者ニ對シ滿期前ニ遷求權ヲ行

フコトヲ得ズ

参加ノ他ノ場合ニ於テハ所持人ハ参加

引受ヲ拒ムコトヲ得若所持人ガ之ヲ受

諾スルトキハ被參加人及其ノ後者ニ對

シ滿期前ニ有スル遷求權ヲ失フ

第五十一条 參加引受ハ爲替手形ニ之ヲ

記載シ參加人署名スペシ參加引受ニハ

被參加人ヲ表示スペシ其ノ表示ナキト

キハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第五十二条 參加引受人ハ所持人及被參

同一ノ義務ヲ負フ

第五十三条 參加引受人ハ所持人及被參

第六十条 參加引受ハ爲替手形ガ支拂地ニ住所ヲ有スル參加大ニ依リテ引受ケラレタルトキ又ハ支拂地ニ住所ヲ有スル者ガ豫備支拂人トシテ記載セラレタルトキハ所持人ハ此等ノ者ノ全員ニ手形ヲ呈示シ且必要アルトキハ拒絶證書ヲ作ラシムルコトヲ要ス

第六十一条 參加引受ハ引受ノ爲ノ呈示

ヲ記載シタルトキハ手形ノ所持人ハ其

ノ者ニ爲替手形ヲ呈示シ且拒絶證書ニ

ヲ爲スコトヲ得ベキ最後ノ日ノ翌日迄ニ支

拂拒絶證書ヲ作ラシムルコトヲ要ス

前項ノ期間内ニ拒絶證書ノ作成ナキト

キハ豫備支拂人ヲ記載シタル者又ハ被

參加人及其ノ後ノ裏書人ハ義務ヲ免ル

拂拒絶證書ヲ作ラシムルコトヲ要ス

第六十二条 參加支拂ヲ拒ミタル所持人ハ其ノ支拂ニ對スル週求權ヲ失フ

第六十三条 參加支拂ハ被參加人及其

シテ爲替手形ニ爲シタル受取ノ記載ニ

依リ之ヲ證スルコトヲ要ス其ノ表示ナ

シテ爲替手形ニ爲シタル受取ノ記載ニ

依リ之ヲ證スルコトヲ要ス其ノ表示ナ

キトキハ支拂ハ振出人ノ爲ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第六十四条 參加支拂人ニ對シ滿期前ニ

コトヲ要ス拒絶證書ヲ作ラシムルコトヲ要ス

第六十五条 參加支拂ハ被參加人ノ爲替手形ニ

ノ者ニ爲替手形ヲ呈示シ且拒絶證書ニ

ヲ爲スコトヲ得ベキ最後ノ日ノ翌日迄ニ支

拂拒絶證書ヲ作ラシムルコトヲ要ス

第六十六条 參加支拂ハ被參加人ノ爲替手形ニ

ノ者ニ爲替手形ヲ呈示シ且拒絶證書ニ

ヲ爲スコトヲ得ベキ最後ノ日ノ翌日迄ニ支

拂拒絶證書ヲ作ラシムルコトヲ要ス

第六十七条 參加支拂ハ被參加人ノ爲替手形ニ

ノ者ニ爲替手形ヲ呈示シ且拒絶證書ニ

ヲ爲スコトヲ得ベキ最後ノ日ノ翌日迄ニ支

拂拒絶證書ヲ作ラシムルコトヲ要ス

第六十八条 參加支拂ハ被參加人ノ爲替手形ニ

ノ者ニ爲替手形ヲ呈示シ且拒絶證書ニ

ヲ爲スコトヲ得ベキ最後ノ日ノ翌日迄ニ支

拂拒絶證書ヲ作ラシムルコトヲ要ス

第六十九条 參加支拂ハ所持人ガ満期又

ハ滿期前ニ遷求權ヲ有スル一切ノ場合

ニ付之ヲ爲スコトヲ要ス

第七十条 參加支拂ハ所持人ガ満期又

ハ滿期前ニ遷求權ヲ有スル一切ノ場合

ニ付之ヲ爲スコトヲ要ス

第七十一条 參加支拂ハ所持人ガ満期又

ハ滿期前ニ遷求權ヲ有スル一切ノ場合

ニ付之ヲ爲スコトヲ要ス

第七十二条 參加支拂ハ所持人ガ満期又

ハ満期前ニ遷求權ヲ有スル一切ノ場合

ニ付之ヲ爲スコトヲ要ス

第七十三条 參加支拂ハ所持人ガ満期又

ハ満期前ニ遷求權ヲ有スル一切ノ場合

ニ付之ヲ爲スコトヲ要ス

第七十四条 參加支拂ハ所持人ガ満期又

ハ満期前ニ遷求權ヲ有スル一切ノ場合

ニ付之ヲ爲スコトヲ要ス

第七十五条 參加支拂ハ所持人ガ満期又

ハ満期前ニ遷求權ヲ有スル一切ノ場合

ニ付之ヲ爲スコトヲ要ス

第七十六条 參加支拂ハ所持人ガ満期又

ハ満期前ニ遷求權ヲ有スル一切ノ場合

ニ付之ヲ爲スコトヲ要ス

第七十七条 參加支拂ハ所持人ガ満期又

ハ満期前ニ遷求權ヲ有スル一切ノ場合

ニ付之ヲ爲スコトヲ要ス

第七十八条 參加支拂ハ所持人ガ満期又

ハ満期前ニ遷求權ヲ有スル一切ノ場合

ニ付之ヲ爲スコトヲ要ス

第七十九条 參加支拂ハ所持人ガ満期又

ハ満期前ニ遷求權ヲ有スル一切ノ場合

ニ付之ヲ爲スコトヲ要ス

第八十条 參加支拂ハ所持人ガ満期又

ハ満期前ニ遷求權ヲ有スル一切ノ場合

ニ付之ヲ爲スコトヲ要ス

第八十一条 參加支拂ハ所持人ガ満期又

ハ満期前ニ遷求權ヲ有スル一切ノ場合

ニ付之ヲ爲スコトヲ要ス

第八十二条 參加支拂ハ所持人ガ満期又

ハ満期前ニ遷求權ヲ有スル一切ノ場合

ニ付之ヲ爲スコトヲ要ス

第八十三条 參加支拂ハ所持人ガ満期又

ハ満期前ニ遷求權ヲ有スル一切ノ場合

ニ付之ヲ爲スコトヲ要ス

第八十四条 參加支拂ハ所持人ガ満期又

ハ満期前ニ遷求權ヲ有スル一切ノ場合

ニ付之ヲ爲スコトヲ要ス

第八十五条 參加支拂ハ所持人ガ満期又

ハ満期前ニ遷求權ヲ有スル一切ノ場合

ニ付之ヲ爲スコトヲ要ス

第八十六条 參加支拂ハ所持人ガ満期又

ハ満期前ニ遷求權ヲ有スル一切ノ場合

ニ付之ヲ爲スコトヲ要ス

第八十七条 參加支拂ハ所持人ガ満期又

ハ満期前ニ遷求權ヲ有スル一切ノ場合

ニ付之ヲ爲スコトヲ要ス

第八十八条 參加支拂ハ所持人ガ満期又

ハ満期前ニ遷求權ヲ有スル一切ノ場合

ニ付之ヲ爲スコトヲ要ス

第八十九条 參加支拂ハ所持人ガ満期又

ハ満期前ニ遷求權ヲ有スル一切ノ場合

ニ付之ヲ爲スコトヲ要ス

第九十条 參加支拂ハ所持人ガ満期又

ハ満期前ニ遷求權ヲ有スル一切ノ場合

ニ付之ヲ爲スコトヲ要ス

第九十一条 參加支拂ハ所持人ガ満期又

ハ満期前ニ遷求權ヲ有スル一切ノ場合

ニ付之ヲ爲スコトヲ要ス

第九十二条 參加支拂ハ所持人ガ満期又

ハ満期前ニ遷求權ヲ有スル一切ノ場合

ニ付之ヲ爲スコトヲ要ス

第九十三条 參加支拂ハ所持人ガ満期又

ハ満期前ニ遷求權ヲ有スル一切ノ場合

ニ付之ヲ爲スコトヲ要ス

第九十四条 參加支拂ハ所持人ガ満期又

ハ満期前ニ遷求權ヲ有スル一切ノ場合

ニ付之ヲ爲スコトヲ要ス

第九十五条 參加支拂ハ所持人ガ満期又

ハ満期前ニ遷求權ヲ有スル一切ノ場合

ニ付之ヲ爲スコトヲ要ス

第九十六条 參加支拂ハ所持人ガ満期又

ハ満期前ニ遷求權ヲ有スル一切ノ場合

ニ付之ヲ爲スコトヲ要ス

第九十七条 參加支拂ハ所持人ガ満期又

ハ満期前ニ遷求權ヲ有スル一切ノ場合

ニ付之ヲ爲スコトヲ要ス

第九十八条 參加支拂ハ所持人ガ満期又

ハ満期前ニ遷求權ヲ有スル一切ノ場合</p

一通限ニテ振出ス旨ノ記載ナキ手形ノ所持人ハ自己ノ費用ヲ以テ複本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ所持人ハ自己ノ直接ノ裏書人ニ對シテ其ノ請求ヲ爲シ其ノ裏書人ハ自己ノ裏書人ニ對シテ手續ヲ爲スコトニ依リテ之ニ協力シ順次振出人ニ及ブベキモノトス各裏書人ハ新ナル複本ニ裏書ヲ再記スルコトヲ要ス

第六十五條 複本ノ一通ノ支拂ハ其ノ支拂方他ノ複本ヲ無効ナラシム旨ノ記載ナキトキト雖モ義務ヲ免レシム但シ支拂人ハ引受ヲ爲シタル各通ニシテ返還ヲ受ケザルモノニ付責任ヲ負フ數人ニ各別ニ複本ヲ譲渡シタル裏書人及其ノ後ノ裏書人ハ其ノ署名アル各通ニシテ返還ヲ受ケザルモノニ付責任ヲ負フ

第六十六條 引受ノ爲複本ノ一通ヲ交付シタル者ハ他ノ各通ニ此ノ一通ヲ保持スル者ノ名稱ヲ記載スベシ其ノ者ハ他ノ一通ノ正當ナル所持人ニ對シ之ヲ引渡スコトヲ要ス

第六十七條 爲替手形ノ所持人ハ自己ノ裏書人ハ其ノ裏書人及振出人ニ對スル請求權ハ適法ノ時期ニ作ラシメタル拒絶證書ノ日附ヨリ、無費用償還文句アル場合ニ於テハ満期ノ日ヨリ一年ヲ以テ时效ニ罹ル

二 他ノ一通ヲ以テ引受又ハ支拂ヲ受クルコト能ハザリシコト

第一節 謄本
第六十九條 爲替手形ノ文言ノ變造ノ場合ニ於テハ其ノ變造後ノ署名者ハ變造前ノ署名者ハ原文言ニ從ヒテ責任ヲ負フ

第七十條 引受人ニ對スル爲替手形上ノ請求權ハ満期ノ日ヨリ三年ヲ以テ时效ニ罹ル

第七十一章 時效
第七十二條 為替手形ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

四 支拂ヲ爲スベキ地ノ表示

五 支拂ヲ受ケ又ハ之ヲ受クル者ヲ指圖スル者ノ名稱

六 手形ヲ振出ス日及地ノ表示

七 手形ヲ振出ス者(振出人)ノ署名

第七十六條 前條ニ掲タル事項ノ何れかヲ缺ク證券ハ約束手形タル效力ヲ有セズ但シ次ノ數項ニ規定スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

満期ノ記載ナキ約束手形ハ之ヲ一覽拂ノモノト看做ス

振出地ハ特別ノ表示ナキ限り之ヲ支拂地ニシテ且振出人ノ住所地タルモノト看做ス

第七十七條 左ノ事項ニ關スル爲替手形ノ呈示及拒絶證書ノ作成ハ取引日ニ於テノミ之ヲ爲スコトヲ得

第七十二條 滿期ガ法定ノ休日ニ當ルヨリ六月ヲ以テ時效ニ罹ル

第七十一條 時效ノ中斷ハ其ノ中斷ノ事由ガ生ジタル者ニ對シテノミ其ノ效力示スコトヲ要ス

第六十八條 謄本ニハ原本ノ保持者ヲ表

替手形ニ關スル他ノ行爲殊ニ引受ノ爲人ニ對シ其ノ原本ヲ引渡スコトヲ要ス

保持者ガ引渡ヲ拒ミタルトキハ所持人ハ拒絶證書ニ依リ原本ガ請求ヲ爲スモ引渡サレザリシコトヲ證スルニ非ザレバ謄本ニ裏書又ハ保證ヲ爲シタル者ニ對シ遡求權ヲ行フコトヲ得ズ

謄本作成前ニ爲シタル最後ノ裏書ノ後ミ效力ヲ有ス」ノ文句其ノ他之ト同一ノ意義ヲ有スル文言ガ原本ニ存スルトキハ原本ニ爲シタル其ノ後ノ裏書ハ之ヲ無効トス

第十章 變造
第六十九條 爲替手形ノ文言ノ變造ノ場合ニ於テハ其ノ變造後ノ署名者ハ變造前ノ署名者ハ原文言ニ從ヒテ責任ヲ負ヒ變造前ノ署名者ハ原文言ニ從ヒテ責任ヲ負フ

第七十五條 約束手形ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一 證券ノ文言中ニ其ノ證券ノ作成ニ用フル語ヲ以テ記載スル約束手形ナルコトヲ示ス文字

二 一定ノ金額ヲ支拂フベキ旨ノ單純ナル約束

三 滿期ノ表示

六 手形ヲ振出ス日及地ノ表示

七 手形ヲ振出ス者(振出人)ノ署名

第七十六條 前條ニ掲タル事項ノ何れかヲ缺ク證券ハ約束手形タル效力ヲ有セズ但シ次ノ數項ニ規定スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

満期ノ記載ナキ約束手形ハ之ヲ一覽拂ノモノト看做ス

振出地ハ特別ノ表示ナキ限り之ヲ支拂地ニシテ且振出人ノ住所地タルモノト看做ス

第七十七條 左ノ事項ニ關スル爲替手形ノ呈示及拒絶證書ノ作成ハ取引日ニ於テノミ之ヲ爲スコトヲ得

第七十二條 滿期ガ法定ノ休日ニ當ルヨリ六月ヲ以テ時效ニ罹ル

第七十一條 時效ノ中斷ハ其ノ中斷ノ事由ガ生ジタル者ニ對シテノミ其ノ效力示スコトヲ要ス

第六十八條 謄本ニハ原本ト同一ノ方法ニ從ヒ且同

一ノ效力ヲ以テ裏書又ハ保證ヲ爲スコトヲ得

二付テノ規定ハ約束手形ノ性質ニ反セ
二 裏書(第十一條乃至第二十條)
三 支拂(第三十三條乃至第三十七條)
四 支拂拒絶ニ因ル遡求(第四十三條乃至第五十條、第五十一條乃至第五十四條)
五 參加支拂(第五十五條、第五十九條乃至第六十三條)
六 謄本(第六十七條及第六十八條)
七 變造(第六十九條)
八 時效(第七十條及第七十一條)
九 休日、期間ノ計算及恩惠日ノ禁止(第七十二條乃至第七十四條)

第十章 時效
第七十二條 為替手形ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一 證券ノ文言中ニ其ノ證券ノ作成ニ用フル語ヲ以テ記載スル約束手形ナルコトヲ示ス文字

二 一定ノ金額ヲ支拂フベキ旨ノ單純ナル約束

三 滿期ノ表示

六 手形ヲ振出ス日及地ノ表示

七 手形ヲ振出ス者(振出人)ノ署名

第七十六條 前條ニ掲タル事項ノ何れかヲ缺ク證券ハ約束手形タル效力ヲ有セズ但シ次ノ數項ニ規定スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

満期ノ記載ナキ約束手形ハ之ヲ一覽拂ノモノト看做ス

振出地ハ特別ノ表示ナキ限り之ヲ支拂地ニシテ且振出人ノ住所地タルモノト看做ス

第七十七條 左ノ事項ニ關スル爲替手形ノ呈示及拒絶證書ノ作成ハ取引日ニ於テノミ之ヲ爲スコトヲ得

第七十二條 滿期ガ法定ノ休日ニ當ルヨリ六月ヲ以テ時效ニ罹ル

第七十一條 時效ノ中斷ハ其ノ中斷ノ事由ガ生ジタル者ニ對シテノミ其ノ效力示スコトヲ要ス

第六十八條 謄本ニハ原本ノ保持者ヲ表

ス(第一二十五條)其ノ日附ハ一覽後ノ期
間ノ初日トス

附
題

第七十九條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十條 商法第四編第一章乃至第三章及商法施行法第一百二十四條乃至第一百一

十六條ハ之ヲ削除ス但シ商法其ノ他ノ
法令ノ規定ノ適用上之ニ依ルベキ場合

ニ於テハ仍其ノ效力ヲ有ス

替手形及約束手形ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依レ

第八十二條 本法ニ於テ署名トアルハ記
名捺印ヲ含ム

名據曰大合云

七條第一項ニ於テ準用ナル場合ニシムノ手形交換所ハ司法大臣之ヲ指定

第八十四條 拒絶證書ノ作成ニ關スル事

項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

生ジタル権利ガ手續ノ欠缺又ハ時效ニ
因リテ消滅シタルトキト雖モ所持人ハ

振出人、引受人又ハ裏書人ニ對シ其ノ受ケタル利益ノ限度ニ於テ償還ノ請求

ヲ爲スコトヲ得

人ニ對スル爲替手形上及約束手形上ノ
請求權ノ消滅時效ハ其ノ者ガ訴ヲ受ケ

タル場合ニ在リテハ前者ニ對シ訴訟告
知ヲ爲スニ因リテ中斷ス

前項ノ規定ニ因リテ中斷シタル時效ハ
裁判ノ確定シタル時ヨリ更ニ其ノ進行

ヲ始ム
第八十七條 本法ニ於テ休日トハ祭日、

祝日、日曜日其ノ他ノ一般ノ休日ヲ謂

第八十八條 爲替手形及約束手形ニ依リ
義務ヲ負フ者ノ能力ハ其ノ本國法ニ依

リ之ヲ定ム其ノ國ノ法律が他國ノ法律ニ依ルコトヲ定ムルトキヘ其ノ他國ノ法律ヲ適用ス
前項ニ掲タル法律ニ依リ能力ヲ有セザル者ト雖モ他ノ國ノ領域ニ於テ署名ヲ爲シ其ノ國ノ法律ニ依レバ能力ヲ有スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム
ベキトキハ責任ヲ負フ
第八十九條 爲替手形上及約束手形上ノ行爲ノ方式ハ署名ヲ爲シタル地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム
爲替手形上及約束手形上ノ行爲ガ前項ノ規定ニ依リ有效ナラザル場合ト雖モ後ノ行爲ヲ爲シタル地ノ屬スル國ノ法律ニ依レバ適式ナルトキハ後ノ行爲ハ前ノ行爲ガ不適式ナルコトニ因リ其ノ效力ヲ妨ゲラルコトナシ
日本人ガ外國ニ於テ爲シタル爲替手形上及約束手形上ノ行爲ハ其ノ行爲ガ日本ノ法律ニ規定スル方式ニ適合スル限り他ノ日本人ニ對シ其ノ效力ヲ有ス
第九十條 爲替手形ノ引受人及約束手形ノ振出人ノ義務ノ效力ハ其ノ證券ノ支拂地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム
前項ニ掲タル者ヲ除キ爲替手形又ハ約束手形ニ依リ債務ヲ負フ者ノ署名ヨリ生ズル效力ハ其ノ署名ヲ爲シタル地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム但シ遡求權ヲ行使スル期間ハ一切ノ署名者ニ付證券ノ振出地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム
第九十一條 爲替手形ノ所持人ガ證券ノ振出ノ原因タル債権ヲ取得スルヤ否ヤ及所持人ニ一部支拂ヲ受諾スル義務アリヤ否ヤハ證券ノ振出地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム
第九十二條 爲替手形ノ引受ヲ手形金額ノ一部ニ制限シ得ルヤ否ヤ及所持人ニ一部支拂ヲ受諾スル義務アリヤ否ヤハ支拂地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム
前項ノ規定ハ約束手形ノ支拂ニ之ヲ準ム

第九十三條 拒絶證書ノ方式及作成期間
其ノ他爲替手形上及約束手形上ノ権利ノ行使又ハ保存ニ必要ナル行爲ノ方式ハ拒絶證書ヲ作ルベキ地又ハ其ノ行爲ヲ爲スベキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第九十四條 爲替手形又ハ約束手形ノ喪失又ハ盜難ノ場合ニ爲スベキ手續ハ支拂地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

○國務大臣小山松吉君演壇ニ登ル
國務大臣(小山松吉君)　只今議題トナリ
マシタ手形法案ニ付テ御説明ヲ申上ゲマ
ス、政府ニ於キマシテハ、現行商法中時勢
ノ進運ニ伴ヒマシテ、改正ヲ要スベキモノノ
アリト認メマシテ、曩ニ其要綱ヲ如何ニスベ
キカラ法制審議會ニ諮問イタシタノデアリ
マスガ、其中、爲替手形及約束手形ニ關スル
規定ニ付キマシテハ、同會ニ於テ之ヲ爲替
手形及約束手形ニ關シ、統一法ヲ制定スル
條約ノ附屬書トナシテ居リマスル手形統一
法ノ如ク、改正スルヲ相當ト認ムル旨ノ
決議ガゴザイマシテ、法制審議會總裁ヨリ其
旨ノ答申ガアツタノデゴザイマス、此手形統
一法ヲ制定スル條約ト申シマスルモノハ、
一昨年即チ昭和五年國際聯盟招聘ノ下ニ開
カレマシタ手形及小切手法規統一ノ國際會
議ニ於テ成立イタシタモノニアリマシテ、
我國モ同年九月五日調印イタシタノデアリ
マス、之ニ依リマスレバ「各締約國ハ條約ノ
附屬書タル手形統一法ヲ各自ノ領域内ニ施
行スルコトヲ約スト云」コトニナシテ居リ
マスルカラ、締約國タル各國ハ何レモ之ヲ
國內法トシテ施行セバナラヌノデアリマ
ス、而シテ此手形統一法ノ沿革ヲ申上ゲマ
スルト、此統一法ハ明治四十五年ニ和蘭國
海牙デ開カレマシタ手形法規統一萬國會議
ニ於テ成立イタシマシテ、其後多年歐洲各
國竝ニ我國ニ於テモ研究イタシテ居リマシ

タ手形統一規則ト云フモノヲ骨子ト致シマ
シテ、之ニ多少ノ修正ヲ加ヘタ程度ノモノ
デアリマス、之ヲ我が現行商法ニ比較イタ
シテ見マスルノニ、實際上ニ於テモ理論上
ニ於テモ優レタ點カ歎クナインデアリマ
ス、依テ政府ハ右手形統一法ニ基キマシテ
司法省内ニ委員會ヲ設ケ、慎重ニ調査審議
ヲ重ネマシタ結果、手形法案ノ脱稿ヲ見タ
ノデアリマス、尙ホ右「ユーネーブ」ノ條約
ニハ、各國ガ批准ヲ爲シ得ベキ期限ガ定メ
テアリマス、ソレハ千九百三十二年即チ本
年ノ八月三十一日迄デアリマス且ツ其條約
ノ效力ガ發生イタシマスル爲ニハ、國際聯盟
理事會ニ常任代表者ヲ出シテ居リマスル聯
盟國ノ三箇國ヲ包含シマシタル七箇國ノ批
准又ハ加入ガアルコトヲ必要トシテ居リマ
ス、其關係カラシテ聯盟理事會ニ常任代表
者ヲ出シテ居リマスル我國ト致シマシテ
ハ、曩ノ海牙手形法規統一萬國會議以來多
年研究ヲ重ネマシテ漸ク其一成果ヲ見マシ
タ所ノ手形統一ノ事業ニ付テ國際的ニ協力
シテ行ク上ニモ責任アル立場ニアリマスノ
デ、右批准期限ノ定ノアル關係ヨリ致シマ
シテ、今會議ニ本法案ヲ提出イタシタ次第
デゴザイマス、本法案ハ我が現行商法第四
編中ノ爲替手形及約束手形ノ規定ノ部分ニ
代ハルモノデアリマス、然ルニ之ヲ商法ノ
一部改正ト致シマセズシテ、別ノ法律ト致
シマシタノハ、立法上竝ニ實際上ノ便宜ニ
出デタモノニ外ナラナイノデアリマス、其
内容ヲ申上ゲマスルト、第一編爲替手形第
二編約束手形及附則ノ三部分ヨリ成シテ居
リマシテ、其中ノ第一編第二編ハ右手形統
一法ヲ翻譯イタシマシタ部分デアリマス、
妹關係ニアル手形ニ關シ法律ノ或抵觸ヲ解
決スル爲ノ條約ニ基クノデアリマス、本法
此國際ノ手形私法ノ部分ハ、是モ統一法制
定條約ト同時ニ成立イタシマシテ、是ト婦
妹關係ニアル手形ニ關シ法律ノ或抵觸ヲ解
決スル爲ノ條約ニ基クノデアリマス、本法

案第一編第二編ノ部分ニ於テ現行商法ヨリ
優レテ居ル點ノ尠クナイト云フコトヲ申上
ゲマシタガ、其主要ナルモノヲ申シマスレ
バ、手形上ノ前者ニ對スル遡求ニ付キ擔保
請求ト償還請求ノ二權ヲ認メナイコトニ致
シマシテ、償還請求ノ一つノ權利ノミヲ認
メタコトデアリマス、次ハ一覽拂及ビ一覽
後ノ定期拂ノ手形ニ利息ノ文句ヲ認メタコ
トデアリマス、次ハ質入裏書ヲ認メタコト
デアリマス、次ハ手形交換所ニ於ケル手形
ノ呈示ニ支拂呈示タルノ效力ヲ認メタコト
デアリマス、次ハ不可抗力ノ場合ニ遡求權
保全行爲ノ期間ノ伸長ヲ認メタコト等デア
リマス、是等ノ詳細ニ付キマシテハ何レ特
別委員會ニ於テ御説明イタス機會ガアルト
存ジテ居リマス、何卒慎重御審議ノ上速ニ
御協賛アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御質疑モナ
イト認メマスカラ、次ノ日程ニ移リマス

○議長(公爵德川家達君) 右議案ノ審査ヲ
付託スベキ特別委員ノ選舉

○子爵東園基光君 只今議題トナリマシタ
特別委員ノ選舉ニ付キマシテハ、今期議會
ヲ通ジマシテ、特別ノ場合ヲ除キマスル外、
ヲ御憂慮ニナシテオイデニナルヤウデアリマ
ス、從テ是ニ付テハ淨化ヲ爲スベキ具體
的方案ガアルノデアラウト存ジマスル、固
ヨリ組閣匂タト云フ時デゴザイマスルカ
ラ、今具體案ヲ御出シニナルコトノナリコ
トハ私モ承知シテ居リマスルケレドモ、併
シ殊ニ之ヲ使命トシテ御述ベニナツタ位デ
ゴザイマスルカラ、政界ノ淨化ヲ圖ラレル
上ニ於テハ、第一ニ斯ウ云フモノヲヤラナ
ケレバナラスト云フコトハ成竹ガアッテノ
コトト存ジマス、或ハ選舉法ノ改正、其中
ニモ衆議院議員ノ選舉法ノ改正ト云フヤウ
案ガアルトスレバ、女子參政權迄モ及ボサ
ガ、既ニ時ノ政府デハ案モ出テ居タ位デゴ
ザイマス、既ニ選舉法ヲ改正セラレル御腹
權ト云フモノノ女子ニ及ボサウト云フコト
ガ、農民ノ疲弊が今日ニ及シダノヘ、獨リ
御腹案モアルノデアラウト思ヒマスルノヘ
一般ノ經濟界ノ不況バカリデハナイ、其ノ
此ニ及シダ原因ハ、遠因モアリ近因モアル
是等ハ農林當局ハ十分ニ御調べニナツテ居
ルデアラウト存ジマス、五百万ノ農民ガド
ウシテ救ハレマスカ、之ヲ今救ハレルコト
ニナツタ、殊ニ今日ハ生絲ノ處分ニ付テ確カ

リ、會議ヲセラレルトカ云フヤウナコトガ

ルデゴザイマセウ、併シ御承知モゴザイマ
ス通り、各地方議員、即チ道府縣ノ議員、
ソレカラ市町村ノ議員マデモ今日ハ、若シ
ト定期拂ノ手形ニ利息ノ文句ヲ認メタコト
デアリマス、次ハ質入裏書ヲ認メタコト
デアリマス、次ハ手形交換所ニ於ケル手形
ノ呈示ニ支拂呈示タルノ效力ヲ認メタコト
デアリマス、次ハ不可抗力ノ場合ニ遡求權
保全行爲ノ期間ノ伸長ヲ認メタコト等デア
リマス、是等ノ詳細ニ付キマシテハ何レ特
別委員會ニ於テ御説明イタス機會ガアルト
存ジテ居リマス、何卒慎重御審議ノ上速ニ
御協賛アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御質疑モナ
イト認メマスカラ、次ノ日程ニ移リマス

○議長(公爵德川家達君) 右議案ノ審査ヲ
付託スベキ特別委員ノ選舉

○子爵東園基光君 只今議題トナリマシタ
特別委員ノ選舉ニ付キマシテハ、今期議會
ヲ通ジマシテ、特別ノ場合ヲ除キマスル外、
ヲ御憂慮ニナシテオイデニナルヤウデアリマ
ス、從テ是ニ付テハ淨化ヲ爲スベキ具體
的方案ガアルノデアラウト存ジマスル、固
ヨリ組閣匂タト云フ時デゴザイマスルカ
ラ、今具體案ヲ御出シニナルコトノナリコ
トハ私モ承知シテ居リマスルケレドモ、併
シ殊ニ之ヲ使命トシテ御述ベニナツタ位デ
ゴザイマスルカラ、政界ノ淨化ヲ圖ラレル
上ニ於テハ、第一ニ斯ウ云フモノヲヤラナ
ケレバナラスト云フコトハ成竹ガアッテノ
コトト存ジマス、或ハ選舉法ノ改正、其中
ニモ衆議院議員ノ選舉法ノ改正ト云フヤウ
案ガアルトスレバ、女子參政權迄モ及ボサ
ガ、既ニ時ノ政府デハ案モ出テ居タ位デゴ
ザイマス、既ニ選舉法ヲ改正セラレル御腹
權ト云フモノノ女子ニ及ボサウト云フコト
ガ、農民ノ疲弊が今日ニ及シダノヘ、獨リ
御腹案モアルノデアラウト思ヒマスルノヘ
一般ノ經濟界ノ不況バカリデハナイ、其ノ
此ニ及シダ原因ハ、遠因モアリ近因モアル
是等ハ農林當局ハ十分ニ御調べニナツテ居
ルデアラウト存ジマス、五百万ノ農民ガド
ウシテ救ハレマスカ、之ヲ今救ハレルコト
ニナツタ、殊ニ今日ハ生絲ノ處分ニ付テ確カ

リ、會議ヲセラレルトカ云フヤウナコトガ

ルデゴザイマセウ、併シ御承知モゴザイマ
ス通り、各地方議員、即チ道府縣ノ議員、
ソレカラ市町村ノ議員マデモ今日ハ、若シ
ト定期拂ノ手形ニ利息ノ文句ヲ認メタコト
デアリマス、次ハ質入裏書ヲ認メタコト
デアリマス、次ハ手形交換所ニ於ケル手形
ノ呈示ニ支拂呈示タルノ效力ヲ認メタコト
デアリマス、次ハ不可抗力ノ場合ニ遡求權
保全行爲ノ期間ノ伸長ヲ認メタコト等デア
リマス、是等ノ詳細ニ付キマシテハ何レ特
別委員會ニ於テ御説明イタス機會ガアルト
存ジテ居リマス、何卒慎重御審議ノ上速ニ
御協賛アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御質疑モナ
イト認メマスカラ、次ノ日程ニ移リマス

○議長(公爵德川家達君) 右議案ノ審査ヲ
付託スベキ特別委員ノ選舉

○子爵西大路吉光君 贊成

○子爵池田政時君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 東園子爵ノ動議
ニ御異存ゴザイマセヌカ
「異議ナシ」と呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認
读ヲ致セマス

(山本書記官朗讀)

ルデゴザイマセウ、併シ御承知モゴザイマ
ス通り、各地方議員、即チ道府縣ノ議員、
ソレカラ市町村ノ議員マデモ今日ハ、若シ
ト定期拂ノ手形ニ利息ノ文句ヲ認メタコト
デアリマス、次ハ質入裏書ヲ認メタコト
デアリマス、次ハ手形交換所ニ於ケル手形
ノ呈示ニ支拂呈示タルノ效力ヲ認メタコト
デアリマス、次ハ不可抗力ノ場合ニ遡求權
保全行爲ノ期間ノ伸長ヲ認メタコト等デア
リマス、是等ノ詳細ニ付キマシテハ何レ特
別委員會ニ於テ御説明イタス機會ガアルト
存ジテ居リマス、何卒慎重御審議ノ上速ニ
御協賛アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御質疑モナ
イト認メマスカラ、次ノ日程ニ移リマス

○議長(公爵德川家達君) 右議案ノ審査ヲ
付託スベキ特別委員ノ選舉

○子爵東園基光君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 東園子爵ノ動議
ニ御異存ゴザイマセヌカ
「異議ナシ」と呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認
读ヲ致セマス

(山本書記官朗讀)

手形法案特別委員 侯爵佐佐木行忠君 種英君 伯爵橋本 實斐君 水上長次郎君

ルデゴザイマセウ、併シ御承知モゴザイマ
ス通り、各地方議員、即チ道府縣ノ議員、
ソレカラ市町村ノ議員マデモ今日ハ、若シ
ト定期拂ノ手形ニ利息ノ文句ヲ認メタコト
デアリマス、次ハ質入裏書ヲ認メタコト
デアリマス、次ハ手形交換所ニ於ケル手形
ノ呈示ニ支拂呈示タルノ效力ヲ認メタコト
デアリマス、次ハ不可抗力ノ場合ニ遡求權
保全行爲ノ期間ノ伸長ヲ認メタコト等デア
リマス、是等ノ詳細ニ付キマシテハ何レ特
別委員會ニ於テ御説明イタス機會ガアルト
存ジテ居リマス、何卒慎重御審議ノ上速ニ
御協賛アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御質疑モナ
イト認メマスカラ、次ノ日程ニ移リマス

○議長(公爵德川家達君) 右議案ノ審査ヲ
付託スベキ特別委員ノ選舉

○子爵西大路吉光君 贊成

○子爵池田政時君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 東園子爵ノ動議
ニ御異存ゴザイマセヌカ
「異議ナシ」と呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認
读ヲ致セマス

(山本書記官朗讀)

ルデゴザイマセウ、併シ御承知モゴザイマ
ス通り、各地方議員、即チ道府縣ノ議員、
ソレカラ市町村ノ議員マデモ今日ハ、若シ
ト定期拂ノ手形ニ利息ノ文句ヲ認メタコト
デアリマス、次ハ質入裏書ヲ認メタコト
デアリマス、次ハ手形交換所ニ於ケル手形
ノ呈示ニ支拂呈示タルノ效力ヲ認メタコト
デアリマス、次ハ不可抗力ノ場合ニ遡求權
保全行爲ノ期間ノ伸長ヲ認メタコト等デア
リマス、是等ノ詳細ニ付キマシテハ何レ特
別委員會ニ於テ御説明イタス機會ガアルト
存ジテ居リマス、何卒慎重御審議ノ上速ニ
御協賛アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 别ニ御質疑モナ
イト認メマスカラ、次ノ日程ニ移リマス

○議長(公爵德川家達君) 右議案ノ審査ヲ
付託スベキ特別委員ノ選舉

○子爵東園基光君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 東園子爵ノ動議
ニ御異存ゴザイマセヌカ
「異議ナシ」と呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認
读ヲ致セマス

(山本書記官朗讀)

ルデゴザイマセウ、併シ御承知モゴザイマ
ス通り、各地方議員、即チ道府縣ノ議員、
ソレカラ市町村ノ議員マデモ今日ハ、若シ
ト定期拂ノ手形ニ利息ノ文句ヲ認メタコト
デアリマス、次ハ質入裏書ヲ認メタコト
デアリマス、次ハ手形交換所ニ於ケル手形
ノ呈示ニ支拂呈示タルノ效力ヲ認メタコト
デアリマス、次ハ不可抗力ノ場合ニ遡求權
保全行爲ノ期間ノ伸長ヲ認メタコト等デア
リマス、是等ノ詳細ニ付キマシテハ何レ特
別委員會ニ於テ御説明イタス機會ガアルト
存ジテ居リマス、何卒慎重御審議ノ上速ニ
御協賛アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 别ニ御質疑モナ
イト認メマスカラ、次ノ日程ニ移リマス

○議長(公爵德川家達君) 右議案ノ審査ヲ
付託スベキ特別委員ノ選舉

○子爵西大路吉光君 贊成

○子爵池田政時君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 東園子爵ノ動議
ニ御異存ゴザイマセヌカ
「異議ナシ」と呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認
读ヲ致セマス

(山本書記官朗讀)

新聞ニモ出テ居リマス、是ハ其後ドウ云フヤウナ結果ニナリマシタカ、生絲一點デスラスノ如シ、其生絲ノ始末モダ今日マデ付イテ居ラナイヤウニ伺ヒマスガ、ドウ云フ所ニ是ハナツテ居リマスルカ、今農民ガ全ク死線ニ立ッテ居ルノハ殊ニ生絲デアル、ソレカラ米デス、私ハ遠因マデ申上ゲタクハナイガ、併シ恐ラク農林政策程是マデ振ハナイモノハナカラウト思フ、ソレハ何デアルカ、元來農ト林ト云フモノハ、一家デ言ヘバ夫婦ミタヤウナモノデアル、是ガ必ズ手ヲ携ヘテ仕事ヲシテ行カナケレバ農民ハ生活ハ出來得ナイ、農、林一個一個ニ付テ申シマスナラバ、二千万町歩、山林ヲ上ニ持テ居ルサウ、シテ自分達ガ稼グ耕地ハ六百万町歩、六百万町歩へ肥料ヤ水ヲ供給シテ吳レル森林ハ、是ハ拋テ置イテモ絶エズシテ吳レル、併シ森林ヲ伐リ開ケバ水源ハ枯渴シテシマフカラ、無論是ハイケナイ、其森林ナルモノノ養成ハ最モ大事デアルシ、又農家ト云フモノハ御承知ノヤウニ秋ノ取入ヲ仕舞、タラ冬ハ仕事ガ無イ、仕事ガナイト云々遊ンデハ居ラレナイ、ソレデハ生活ヲシテ行カレナイ、必ズ森林ニ依ッテ生活ヲスル、丁度農業ノ閑時ニ宜イ工合ニ冬伐シ運材ヲスル……木材ヲ運搬スル、之ニ從事シテ自分達ノ仕事ガアリテ是デ生活ガ出来ルカラデアル、農民個人トシテモ此森林デ農民ハ生活スル、例ヘバ北海道ノヤウナ開墾デモ、森林ノ麓デナカラカラ殆ド開墾ハ出来マセヌ、冬ノ仕事ガアリテ是デ生活ガ出来ルカラデアル、農民個人トシテモ此森林ヲ持タナイモノハ非常ニ困難ヲスル、況ヤ肥料モ森林カラ取ラナケレバナラナイ、ソレ故ニ農林ト云フモノハ殆ド夫婦關係ノヤドモ、實際ソレヲヤッテ居ラナイ、農業教育、林業教育ニ付テハ、御承知ノ如ク農科大學ト云フモノガ立派ニ立ッテアル、併シ其農科

大學ガ何ヲシテ居リマス、農科大學ヲ出タモノニハ林學博士、農學博士モ居リマス、ラスノ如シ、其生絲ノ始末モダ今日マデ付イテ居ラナイヤウニ伺ヒマスガ、ドウ云フ所ニ是ハナツテ居リマスルカ、今農民ガ全ク死線ニ立ッテ居ルノハ殊ニ生絲デアル、ソレカラ米デス、私ハ遠因マデ申上ゲタクハナイガ、併シ恐ラク農林政策程是マデ振ハナイモノハナカラウト思フ、ソレハ何デアルカ、元來農ト林ト云フモノハ、一家デ言ヘバ夫婦ミタヤウナモノデアル、是ガ必ズ手ヲ携ヘテ仕事ヲシテ行カナケレバ農民ハ生活ハ出來得ナイ、農、林一個一個ニ付テ申シマスナラバ、二千万町歩、山林ヲ上ニ持テ居ルサウ、シテ自分達ガ稼グ耕地ハ六百万町歩、六百万町歩へ肥料ヤ水ヲ供給シテ吳レル森林ハ、是ハ拋テ置イテモ絶エズシテ吳レル、併シ森林ヲ伐リ開ケバ水源ハ枯渴シテシマフカラ、無論是ハイケナイ、其森林ナルモノノ養成ハ最モ大事デアルシ、又農家ト云フモノハ御承知ノヤウニ秋ノ取入ヲ仕舞、タラ冬ハ仕事ガ無イ、仕事ガナイト云々遊ンデハ居ラレナイ、ソレデハ生活ヲスル、丁度農業ノ閑時ニ宜イ工合ニ冬伐シ運材ヲスル……木材ヲ運搬スル、之ニ從事シテ自分達ノ仕事ガアリテ是デ生活ガ出来ルカラデアル、農民個人トシテモ此森林デ農民ハ生活スル、例ヘバ北海道ノヤウナ開墾デモ、森林ノ麓デナカラカラ殆ド開墾ハ出来マセヌ、冬ノ仕事ガアリテ是デ生活ガ出来ルカラデアル、農民個人トシテモ此森林ヲ持タナイモノハ非常ニ困難ヲスル、況ヤ肥料モ森林カラ取ラナケレバナラナイ、ソレ故ニ農林ト云フモノハ殆ド夫婦關係ノヤドモ、實際ソレヲヤッテ居ラナイ、農業教育、林業教育ニ付テハ、御承知ノ如ク農科大學ト云フモノガ立派ニ立ッテアル、併シ其農科

大學ガ何ヲシテ居リマス、農科大學ヲ出タモノニハ林學博士、農學博士モ居リマス、ラスノ如シ、其生絲ノ始末モダ今日マデ付イテ居ラナイヤウニ伺ヒマスガ、ドウ云フ所ニ是ハナツテ居リマスルカ、今農民ガ全ク死線ニ立ッテ居ルノハ殊ニ生絲デアル、ソレカラ米デス、私ハ遠因マデ申上ゲタクハナイガ、併シ恐ラク農林政策程是マデ振ハナイモノハナカラウト思フ、ソレハ何デアルカ、元來農ト林ト云フモノハ、一家デ言ヘバ夫婦ミタヤウナモノデアル、是ガ必ズ手ヲ携ヘテ仕事ヲシテ行カナケレバ農民ハ生活ハ出來得ナイ、農、林一個一個ニ付テ申シマスナラバ、二千万町歩、山林ヲ上ニ持テ居ルサウ、シテ自分達ガ稼グ耕地ハ六百万町歩、六百万町歩へ肥料ヤ水ヲ供給シテ吳レル森林ハ、是ハ拋テ置イテモ絶エズシテ吳レル、併シ森林ヲ伐リ開ケバ水源ハ枯渴シテシマフカラ、無論是ハイケナイ、其森林ナルモノノ養成ハ最モ大事デアルシ、又農家ト云フモノハ御承知ノヤウニ秋ノ取入ヲ仕舞、タラ冬ハ仕事ガ無イ、仕事ガナイト云々遊ンデハ居ラレナイ、ソレデハ生活ヲスル、丁度農業ノ閑時ニ宜イ工合ニ冬伐シ運材ヲスル……木材ヲ運搬スル、之ニ從事シテ自分達ノ仕事ガアリテ是デ生活ガ出来ルカラデアル、農民個人トシテモ此森林デ農民ハ生活スル、例ヘバ北海道ノヤウナ開墾デモ、森林ノ麓デナカラカラ殆ド開墾ハ出来マセヌ、冬ノ仕事ガアリテ是デ生活ガ出来ルカラデアル、農民個人トシテモ此森林ヲ持タナイモノハ非常ニ困難ヲスル、況ヤ肥料モ森林カラ取ラナケレバナラナイ、ソレ故ニ農林ト云フモノハ殆ド夫婦關係ノヤドモ、實際ソレヲヤッテ居ラナイ、農業教育、林業教育ニ付テハ、御承知ノ如ク農科大學ト云フモノガ立派ニ立ッテアル、併シ其農科

大學ガ何ヲシテ居リマス、農科大學ヲ出タモノニハ林學博士、農學博士モ居リマス、ラスノ如シ、其生絲ノ始末モダ今日マデ付イテ居ラナイヤウニ伺ヒマスガ、ドウ云フ所ニ是ハナツテ居リマスルカ、今農民ガ全ク死線ニ立ッテ居ルノハ殊ニ生絲デアル、ソレカラ米デス、私ハ遠因マデ申上ゲタクハナイガ、併シ恐ラク農林政策程是マデ振ハナイモノハナカラウト思フ、ソレハ何デアルカ、元來農ト林ト云フモノハ、一家デ言ヘバ夫婦ミタヤウナモノデアル、是ガ必ズ手ヲ携ヘテ仕事ヲシテ行カナケレバ農民ハ生活ハ出來得ナイ、農、林一個一個ニ付テ申シマスナラバ、二千万町歩、山林ヲ上ニ持テ居ルサウ、シテ自分達ガ稼グ耕地ハ六百万町歩、六百万町歩へ肥料ヤ水ヲ供給シテ吳レル森林ハ、是ハ拋テ置イテモ絶エズシテ吳レル、併シ森林ヲ伐リ開ケバ水源ハ枯渴シテシマフカラ、無論是ハイケナイ、其森林ナルモノノ養成ハ最モ大事デアルシ、又農家ト云フモノハ御承知ノヤウニ秋ノ取入ヲ仕舞、タラ冬ハ仕事ガ無イ、仕事ガナイト云々遊ンデハ居ラレナイ、ソレデハ生活ヲスル、丁度農業ノ閑時ニ宜イ工合ニ冬伐シ運材ヲスル……木材ヲ運搬スル、之ニ從事シテ自分達ノ仕事ガアリテ是デ生活ガ出来ルカラデアル、農民個人トシテモ此森林デ農民ハ生活スル、例ヘバ北海道ノヤウナ開墾デモ、森林ノ麓デナカラカラ殆ド開墾ハ出来マセヌ、冬ノ仕事ガアリテ是デ生活ガ出来ルカラデアル、農民個人トシテモ此森林ヲ持タナイモノハ非常ニ困難ヲスル、況ヤ肥料モ森林カラ取ラナケレバナラナイ、ソレ故ニ農林ト云フモノハ殆ド夫婦關係ノヤドモ、實際ソレヲヤッテ居ラナイ、農業教育、林業教育ニ付テハ、御承知ノ如ク農科大學ト云フモノガ立派ニ立ッテアル、併シ其農科

大學ガ何ヲシテ居リマス、農科大學ヲ出タモノニハ林學博士、農學博士モ居リマス、ラスノ如シ、其生絲ノ始末モダ今日マデ付イテ居ラナイヤウニ伺ヒマスガ、ドウ云フ所ニ是ハナツテ居リマスルカ、今農民ガ全ク死線ニ立ッテ居ルノハ殊ニ生絲デアル、ソレカラ米デス、私ハ遠因マデ申上ゲタクハナイガ、併シ恐ラク農林政策程是マデ振ハナイモノハナカラウト思フ、ソレハ何デアルカ、元來農ト林ト云フモノハ、一家デ言ヘバ夫婦ミタヤウナモノデアル、是ガ必ズ手ヲ携ヘテ仕事ヲシテ行カナケレバ農民ハ生活ハ出來得ナイ、農、林一個一個ニ付テ申シマスナラバ、二千万町歩、山林ヲ上ニ持テ居ルサウ、シテ自分達ガ稼グ耕地ハ六百万町歩、六百万町歩へ肥料ヤ水ヲ供給シテ吳レル森林ハ、是ハ拋テ置イテモ絶エズシテ吳レル、併シ森林ヲ伐リ開ケバ水源ハ枯渴シテシマフカラ、無論是ハイケナイ、其森林ナルモノノ養成ハ最モ大事デアルシ、又農家ト云フモノハ御承知ノヤウニ秋ノ取入ヲ仕舞、タラ冬ハ仕事ガ無イ、仕事ガナイト云々遊ンデハ居ラレナイ、ソレデハ生活ヲスル、丁度農業ノ閑時ニ宜イ工合ニ冬伐シ運材ヲスル……木材ヲ運搬スル、之ニ從事シテ自分達ノ仕事ガアリテ是デ生活ガ出来ルカラデアル、農民個人トシテモ此森林デ農民ハ生活スル、例ヘバ北海道ノヤウナ開墾デモ、森林ノ麓デナカラカラ殆ド開墾ハ出来マセヌ、冬ノ仕事ガアリテ是デ生活ガ出来ルカラデアル、農民個人トシテモ此森林ヲ持タナイモノハ非常ニ困難ヲスル、況ヤ肥料モ森林カラ取ラナケレバナラナイ、ソレ故ニ農林ト云フモノハ殆ド夫婦關係ノヤドモ、實際ソレヲヤッテ居ラナイ、農業教育、林業教育ニ付テハ、御承知ノ如ク農科大學ト云フモノガ立派ニ立ッテアル、併シ其農科

ル御承知ノ如ク獨逸ガ千八百七十年ニ佛蘭西カラ「アルサスヘロートリンゲン」ヲ割イテ取アタ、ソレニ對シテ千八百七十四年ニ陸軍ノ大改革ヲスル場合ニ、當時ノ獨逸ノ名將「モルトケ」ガ議會ヲ言テ居ル、戰時半年デ占領シタ國ハ、兵ヲ以テ五十年守ラナケレバ失フゾト云フコトヲ言テ居ル、私ハ名言ダト思ヒマシタ、デ又御承知ノヤウニ佛蘭西ノ法律デモ何デモ土地ハ割イタガ其儘實行シテ居ル、歴史ノ異ナル國民ニ向シテ新シイ國ノ法律ヲドシシヤク日ニハ、國民ハ堪ヘ得ラレルモノハナイ、デ是ト合セテ、私ガズット以前ノ總督デ兒玉源太郎君ガ陸軍大臣デ兼ネテ行々タ時分ニ、一タ候ノ所へ遊ビニ來タカラ、君ヘ斯ウ云フコトヲ知テ居ルカト言、タ、サウカソレヘ初耳ダ、「モルトケ」ハ斯ウ言々タガ、五十年間ヲ以テ守ラナケレバ失フゾト言、タ、ソレヘ宜イコトヲ聞イタトスウ言、タ、丁度今回佛蘭西ニアレヲ返サニヤナラヌコトニ至ツタノガ、ソレカラ四十八年後ト思ヒマス、サウ云フヤウナコトデアルカラ臺灣ノヤウナ新シク謂ハバ新附ノ國民デアル、之ニ向シテ私ハ仕事ハ何事ニ限ラズ餘程注意ヲ要スル、從テ屢々スウ云フ植民地ノ官吏ヲ更ヘルト云フコトハ餘リ得策デナイト私ハ考ヘル、併シ今回ハ幸ニシテ中川健藏君ノヤウナ良人ガ行キマシタカラ、是ハ誠ニ結構デアル、結構デアルガ政府ノ御方計ハドウアルカト云フコトニ付テ、私ハサウ云フヤウナコトガアルト、甚ダ面白クナイ、デ之ニ付テノ御方針ヲ……人事行政ニ付テ居ルコトダカラ、ソレハ言ヘヌト仰シヤレバソレマデノ話、今一ツハ上海ノ先般ノ大事件デス、爆弾事件デス、アノ爆弾事件ト云フモノハ實ニ何トモ

我ニハ言葉ガ出ナイ、白川大將ノ遺骸ヲ凱旋トシテ御迎ヘシナケレバナラヌニ至フテ、何トモ言ヒヤウガナイ、是ニハ軍司令官ヲ初メ其他ノ要部ノ將官、文官トシテハ公使、カ是ハ確カニ朝鮮人デアルト云フコトダケハ新聞ニ出タガ、果シテ朝鮮人ガソレヲタ、此事柄ハ其後ドウ云フ者ガ之ヲヤッタノ查ガ速ニ出來テ居ル筈、併シ朝鮮人バカリデナイ、他ニ共謀ガアルト云フ、他ニアルトスレバソレハ何處ノ人デアルカ、ドウ云フ人デアルカ、又之ヲ昨日ハ確カ餘リ詳シク御報告ガナカタヤウニ思ヒマス、又一面カラ言フト上海ニハ警察官モ居リ、憲兵モ居リ、又軍部ニハ牒報ノ役人が何處ニモ居ル、而モ休戦中デアルカラトハ云ヘ、矢張リ陸海軍ガ駐屯シテ居ル所デアル、寫眞デ見マスルト、チヨト手ヌカリデハナカタカト云フヤウナ點モ見エル、ソレ故ニ國民ヘドウ云コトデアルカラ臺灣ノヤウナ新シク謂ハバノカト云フコトモ不安ヲ感ジテハ居ヌカト思フノデス、是ハドナタカラテモ宜シ、決シテ軍部大臣ノ御答辯デナグテ宜シイ、ドナタカラデモ宜シイ、御答辯ヲ承ハリタイ、私ニ質問ハ是デ終リデアリマス

(國務大臣後藤文夫君演壇ニ登ル)
○國務大臣(後藤文夫君) 唯今ノ御質問ノ中、農林省ノ關係ノ點ニ付キマシテ御答ヲ致シタクト存ジマスガ、農村ガ非常ナ窮乏ノ状態ニ陥テ居リマスト云フコトハ御説ノ通リデアリマス、深ク同情ヲ以テ之ヲ見ナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、其由テ來ル遠因ハ澤山アルト云フ御話デアリマシタガ、實ニ其通りデゴザイマス、今更忽然トシテ生ジタ状況デハアリマセヌ、過去ニ於ケル幾多ノ遠因ト又昨今ノ色ニナ内外ノ状況トガ、農村ノ今日ノ窮乏持チ來タシテ居ルノデアリマス、從テ是ガ救濟ノ手段云フモノモ中ミ容易デハナイノデゴザイ

マデ度ニ改正ノコトニ付テハ論議サレテ居ルノデアリマスガ、今ダニマダスノ如ク改正ラシタラ宜カラウト云フ案ヲ持テ居リス、次ニ社會政策ノコトデアリマスガ、今マセヌ、從テ御質問ノ此女子參政權或ハ公民權ノ如キモノニ付テモ無論考慮スペキテ初メテ斷案ヲ下スノデアリマスルガ、今コトト考ヘマス、併ナガラ此事タルヤ我國ニハ曾テナイ初メテノ事デアリマスル故ニ、種々ノ方面ニ於テ善惡ヲ調ベマシタ上ニハ研究ハシテ居リマスガ、今ダニ斯クシタラバト云フコトノ論議ニ到達シマセヌコトデゴザイマス、先づ此衆議院選舉法ニ付キマシテハ唯今十分研究シテ居リマスト云トテゴザイマス、或ハ行政ノ刷新ニ付キマシテモ、是モ御承知ノ如ク相當ナル弊ガアルノデゴトコトヲ以テ御答ヲ致シタウゴザイマス、之ヲ以テ御答ヲ付カナヤウナコトガ段々アルノデゴザリ調べテ集スマシタ上ニ付テ、四十六万有餘ニモナツテ居ルノデゴザイマスルカラシテ、斯ウ云フヤウナコトニ付キマシテモ、ス、或ハドウ云フ法ニ依テソレヲ救濟スルカ、是マデ道路、港灣ナドニ付キマシテモ、サイアシテ、地方官ノ中ニハ殆ドスルコトノ付カナヤウナコトガ段々アルノデゴザガ、殆ド物ニ依テハ政治ト事務行政ト區別ガ行政官トシテスルカ、或ハ政治家デ爲スガ、殆ド物ニ依テハ政治ト事務行政ト區別ノ付カナヤウナコトガ段々アルノデゴザハ此地方ノ紹制上ニ付テ重大ナル關係ガアルノデゴザイマス、斯ノ如キモノハ或ハ地方法ニ付カナヤウナコトニ付キマシテハ一層其途ヲ講ジタス、或ハズルノデゴザイマス、之ヲ以テ御答ト致シマス

ノ農民ヲドウシテ教へムトスルカ、ドウ云
フ案ヲ持チ合セテ居ルカト云フヤウナ御尋
ネデゴザイマシタ、農村ノ負債ノ問題ア
ルトカ、或ハ農村ノ資金難ノ問題デアリマ
ストカ、農産物ノ價格ノ非常ニ下ッテ居ル
問題デアリマストカ、其外今日ノ農村ニ迫フ
テ居リマスル問題ハ多々アリマス、之ニ付
キマシテハ其過去ノ政府當局者ニ於キマシ
テモ色ニ苦心ヲ重ネテ、ソレゾレ出來得ル
事柄ヲ實行サレテ來テ居ルヤウデアリマ
ス、今回御協贊ヲ願テ居リマスル豫算ノ
中ニモ、之ニ關スル方策ノ講ゼラレテ居ル
モノガゴザイマス、デ是迄イタシテ居リマ
スル事柄ノ尙ホ進丁ニ續行スペキモ
ノ等ハ、是カラモ十分ニヤテ行キタイト
思ツテ居リマス、尙ホ是等ノ問題ニ向ヒマシ
テ十分ナ考究ヲ重ネテ、出來ルダケ何等力
良イ途ヲ發見シテ参リタイ、最善ノ努力ヲ
致ス考デ居リマス、殊ニ昨今差追タ問題
ニナツテ居ル生絲ノコトハドウナツテ居ルカ
ト云フ御尋デアリマシタ、高橋サンノ御心
配ナサレマスル通リニ、多量ノ滯貿生絲ト
云フモノガ存在シテ參ツテ居リマシテ、是方
一旦處分ヲサレタノデアリマスケレドモ、
其後ニ於ケル事情ノ變化ハ生絲ノ價ノ續落
トナリ、從テ是ガ將ニ今出盛り期ニナラウ
トシテ居ル新繭ノ價ニモ影響シテ、直接ニ
農民ノ此窮乏シテ居ル狀態ヲ、更ニ壓迫ス
ルヤウナ形ニナツテ參ツテ居リマス、私就任
發見シタイト努力ヲ致シテ居ル次第アリ
マス、速ニ發見ヲ致シタイト努力ヲ致シテ
ニ考究中デアリマス、何等カノ打開ノ途ヲ

ト云フヤウナモノハ密接ナ關係ガアル、此農林ノ關係ト云フモノニ是マデ或ハ考慮ノ足ラヌ點ガアリハセヌカト云フヤウナ御趣旨ノ御話ガゴザイマシタ、是ハ無論當局ニ於キマシテモ、農業ト林業ト云フモノガ密接ナ關係ガアル、殊ニ山村或ハ近クニ山ヲ持テ居ル地方ノ農村ニ於キマシテハ、林業ト農業トノ密接ナ關係ヲ十分ニ組合セテ行クト云フコトガ、農家ノ經營ノ上カラ申シマシテモ非常ナ大切ナコトニアリマス、是等モ、是等ノ點ニハ相當ニ矢張リ當局ニ於テハ注意ヲ致シテ參^フテ居リマスガ、今後モ十分ナ注意ヲ致シテ參リタイト存ジマシテ居リマスル、ソレカラ今日ノ農村ノ窮乏シテ居ル原因ハ……遠因ハ多々アルデアラウガ、其中ニ農林行政ノ方面カラ見テ、農林ノ當局者殊ニ局長等ノ位置ニ就クモノガ農林業ノ専門ノ人達^ニハナクシテ、素人ノ人ガヤ^フテ居ルト云フヤウナコトモ面白クナイデヤナイカト云フヤウナ趣旨ノ御話ガアフタヤウデアリマス、是ハ今日迄ニ於キマシテモ、農林ノ専門家ガ農林行政ニハ澤山居リマシテ、十分ニ是等ノ人モ參加イタシテ居リマス、局長等ノ位置ニ當ル人ハ、農林専門ノ學問ヲ修メタ人デハアリマセヌ場合ガ多カフタカモ知レマセヌケレドモ、無論アリマス、併シ尙ホ此農林ノ専門ノ技術ノ専門ノコトニ付キマシテモ、相當ナ理解ヲ人達ト云フモノノ意見ヲ十分ニ尊重シ、之ヲ有力ニ農林行政ノ上ニ現ハスト云フヤウナコトハ是非努メネバナラヌ、努メタイト思^フテ居ルヤウナ次第アリマス

リマスル場合ハ、我國トシテハ出來得ルダ
ケ好意ヲ以テ精神的、物質的ノ援助ヲ與ヘ
タイト考ヘテ居ルノデアリマス、又移民ニ
付テ既ニ何等カノ計畫ヲ立テ居ルカト云
フコトモ併セテ御尋ニナツタ存ジマスガ、
御承知ノ通り滿洲ハ尙ホ馬賊ノ出沒ガ頗ル
頻繁デアリマシテ、先ツ其討伐ニ依テ生活
ノ不安ヲ取除クト云フコトニ全力ヲ盡シテ
居ルノデアリマス、此馬賊、土匪ノ討伐ヲ
行ヒマスルト同時ニ、政府ト致シマシテハ
將來移民ヲ送リマスルニ付キマシテノ調査
モ今進メテ居ル譯デアリマス、政府ト致シ
マシテハ滿洲人ト十分ニ共存共榮スルコト
モ出來、又從來滿洲ニ移住イタシマシテ既
ニ種々ナル計畫ヲ立テ居ル日本人ノ利益
トモ衝突シナイヤウナ方法デ出來得ルダケ
移民ヲ送ル計畫ヲ…出來得ルダケ多數ノ
移民ヲ送ル計畫ヲ立テタイト考ヘテ居ル
所デアリマス、ソレカラ第三ニ、植民地ノ
當局者ヲ頻繁ニ更迭セシムルコトハ宜シク
ナイガ、政府ハ如何ニ考ヘテ居ルカト云フ御
尋デアツタ思ヒマス、政府トシマシテモ、植
民地當局者ヲ頻繁ニ更迭セシムルコトハ、
植民地ニ於ケル人心ヲ非常ナ不安ニ陥レマ
スルノミナラズ、折角植民地ニ在住シテ居
ル人々ガ產業其他ニ對シテ立テタ計畫ヲモ
左右セラルル危險ヲ感ズルコトデアリマシ
テ、植民地統制ノ上ニ好キ影響ヲ及ボスモ
ノトハ思ヒマセヌ、故ニ政府ト致シマシテ
ハ、植民地統治ニ支障ヲ來スガ如キ已ムヲ
得ザル事情ガ發生イタシマセヌ限ヘ單ニ内
閣ガ更迭シタト云フガ如キコトニ依テ、濫
ノミ植民地ノ當局者ヲ更迭スル意思ヲ有シテ

居ラナイト云フコトヲ申上ゲテ置キタイト
存ジマス

○高橋城也君 一言デゴザイマスカラ此處
デ御許シヲ願ヒマス、只今拓務大臣ハ滿洲

ノ四頭政治ノ弊害ト云フコトヲ仰シヤッタ
ガ、私ハ演壇ニ立チマシテアレダケ難舌り

マシタガ、弊害ト云フコトハ何モ一言モ言
ハナイ、從テアナタノ御聽キ違ヒダラウ

ト思ヒマスガ、四頭政治ト云フコトニ付テ
ハ、色々一頭政治ニスルトカ何カト云フコト

モ新聞ニハ出テ居リマスルガ、ソレヲ言ッタ
ハ御尋ネシナカッタ、併シ弊害ト云フコトダ

ケハ申シマセナンドカラ、若シアナタガ二
回其處デ御述ベニナツタガ、ソレヲ言ッタ
ト云フコトヲ御信ジニナツタラ、ソレハ御取

消ヲ願ヒマス、他ハモウ私ハ是デ質問ハ打
切りリマス、今日ノ場合……

○議長(公爵德川家達君) 次ハ侯爵德川義
親君ニ發言ヲ許シマス

(侯爵德川義親君演壇ニ登ル)

○侯爵德川義親君 私ハ昨年ノ東北及北海

道ニ掛ケテノ凶作ニ付キマシテ、其救濟及
ビ其凶作ノ原因等ニ付テ、大體ガ北海道長
官ニ御尋ネシタイト存ジマス、幸ニ内務大

臣モソレカラ農林大臣モ御出デニナリマス
カラ旁、此方ニモニ三御質問シタイト

思テ居リマス、昨年ハ東北地方カラ北海
道ニ掛ケマシテ、非常ナ凶作ノ爲ニ、農村

ハ打撃ヲ受ケタノデゴザイマス、一昨年ハ
ソレヨ反シテ非常ナ豐作デアリマシタガ、
是ハ米ノ値ガ非常ニ下ッタ爲ニ、農村ガ矢張

リ打撃ヲ受ケタ、サウシテ見マスト、農村
ト云フモノハ、豐作デモ凶作デモ、共ニ苦マ

ナケレバナラナイ中央ニ於キマシテハ米ヲ
盛ンニ買上ゲテ居ルソニ、地方デハ米ガ無

クチ農民ガ自身飢餓ニ苦シニ居ルト云フヤ
ウナ状態ニナツテ居リマス、此農村ガ疲弊

イタシマシタ其原因ハ、是ハ農業ノ問題ヨ
リモ寧ロ農村ト云フモノガ政黨化シタ其爲

デハナイカト存ジマス、政黨ト云フモノガ、
自分ノ黨利黨勢ノ爲バカリ考ヘテ争ヒ續ケ

タ爲ニ、國民ノ利福ト云フモノヲ忘レ、サ
ウシテ其結果ハ農村ノ自治體ニマデ政黨ノ

弊害ト云フモノガ這入シテ参リマシテ、サ
ウシテ此農村疲弊ノ重大ナル原因ヲ爲シタ

モノデハナイカト思フノデゴザイマス、殊

ニ東北地方ガ昨年ノ凶作ニ際シマシテ、特

ニヒドイ惨害ヲ受ケマシタノハ、一ツニハ
東北地方ノ銀行ガ政黨ノ争ノ爲ニ澤山倒レ

テシマッタ、サウシテ地方ノ有力者ガ之ヲ
救濟スル力ガ無クナツタ爲ニ、一ツ

ハ其爲ニ非常ニ大キナ慘害ヲ受ケタモノト
云フコトハ、是ハ可ナリ明カナ事實ナノデ

ゴザイマス、農村ガ政黨化シタ爲ニ、何等

町村會ニ於テ施設スルコトガ出來ナイ、必

ズ片方ノ政黨ニ變シタ爲ニ……變ル度ニ今

迄ヤツ施設ト云フモノガ打壊サレテシマ
フカラ、ドウシテモ思フヤウナ施設ガ出來

ナイ爲ニ、農業ト云フモノガ段々退歩イタ
シマシテ、自然ノ脅威ニ對シテ人ノ力ヲ以

テ闘フコトガ出來ナクナツタノデゴザイマ
ス、全體天候ノ不良ト云フモノハ、人ノ力

デハ何トモ致スコトハ出來マセヌケレド

デハゴザイマセヌ、其重大ナル原因ハ、寧
ロ北海道ノ拓殖計畫ガ誤、テ居ルノデハナ

イカト存ジマス、北海道ノ拓殖計畫ヲ見マ
スト、昭和二年度カラ二十年間ニ、凡ソ九

億六千四百万圓ヲ支出スルコトニナツテ居

リマス、昭和七年度ノ豫算ガ約二千百四十

万圓デアリマスガ、此國費多端ノ際ニ此莫

大ナル金ノ大部分ト云フモノハ、可ナリ無

ダラウト存ジマス、ソレハ北海道ノ農村ヲ

非常ナ窮状ニ陥レマシタモノノ最大ナル原

因ハ、拓殖計畫ノ中ニ、約一億二千万圓ヲ

田費ハ四割、灌漑溝ノ補助ガ五割ト云フコト

ニナツテ居リマス、農民ハ補助ガ貰ヘテ米

ガ出來ルト云フノデ有頂天ニナツテ仕舞ヒ、

矢鱈ニ水田ヲ造ツタノデアリマス、其結果

北海道デハ盛ニ米ガ出來ルヤウニナリマシ

テ、忽チ千百万石ニ達シマシタ、百万石ニ

達シタ時ハ道民ガ非常ニ喜ンデ、御祝ヒヲ致

シマシタ、二百万石ニナリマシタ時ハ御祝

サウシテ其田カラハ收入ガ無イカラ、農民
ノ負擔ト云フモノハ年々殖エテ參ツテ居ル

ノデゴザイマス、何故北海道デヘ特ニサウ
カト申シマスト、元來稻ト云フモノハ熱帶

植物デアリマス、其熱帶植物ヲ寒帶ニ近イ
北海道ニ植エテ、果シテ宜イモノカドウカ、

是ハ日本ノ全體トシテノ農業政策ガ誤、テ
居リハシナイノダラウカト存ジマス、デ

我國ガ南カラ北ニ長ク延ビテ居リマシテ、
南ノ方ハ熱帶農業ノ米デモ宜シノデアリ

マスケレドモ、北ノ方ハドウシチモ是ハ寧

ロ混同農業ニ依リ、烟ニ依テ行カナケレ

バナラヌモノデハナイカ、是ガ我國ノ農業
政策ノ根本ニナツテ政策ヲ決メナケレバイ

ケナインデハナイカ、此點ハ將來ドウ云フ

風ニオ考ヘニナツテ居リマスカ、是ハ北海

道ノミナラズ、全體ノ問題トシテ農林大臣

ニ伺ヒタイト存ジマス、將來此北海道ニ水

田ヲ獎勵シテ米ヲ作ルト云フコトハ、非常

ナル危険ヲ伴ハナケレバナラヌ、數年ニ一
回ハ必ず凶作ガ來ルモノト云フ豫想ヲ以テ

シナケレバナラナイノデアリマシテ、米ノ
如キ單一農業ニ依リテ北海道ニ立タウトス

ルト云フノハ、非常ナ危険デアリマス、農業

ハ全體投機事業デハナインデアリマズカラ、

ニ、單一農業ノ計畫デ四十五万町歩ノ田
造ルト云フ傍ラ、今度ハ其ノ逆ニ全クト
全クトハ申シマセヌガ、相當ニ相反シタ理
想ノ下ニ、即チ畜産獎勵デアリマス、是ハ
田ヲ造ルト中々牛ヤ馬ガ飼ヘナイノデ、ド
ウシテモ畜產獎勵トナルト、烟フ方面ニ行
カナケレバナラヌノデアリマス、此畜產獎
勵モ北海道デハ約千六百二十萬圓ヲ費シテ
獎勵イタシテ居リマスガ、其中ニ最モ無法
ナモノハ牛馬百万頭計畫ト云フモノガアリ
マシテ、北海道ニ牛ト馬ヲ百万頭ニ殖ヤサ
ウト云フノデアリマス、其爲ニ非常ナ補助
ヲ與ヘテ、ドンヽ牛ヤ馬ヲ殖ヤス、是ハ
自然ニ殖エテ行ッタナラバ、差支ゴザイマセ
ヌケレドモ、無暗ニ補助ヲ與ヘテ殖ヤス爲
ニ、矢張リ馬一頭、牛一頭ニ付テ相當ナ借
金ヲ農民ガ致シマスノト、ソレカラ矢餓ニ
殖エル爲ニ牛乳ガ非常ニ生産過剩ニナッテ、
ドンヽ牛乳ノ値ガ下ヅテ參ルノデゴザイ
マス、昭和五年ノ初ニ於キマシテハ、牛乳
ノ値段ガ一升十五六錢、一升十五六錢ナラ
バ農民ハ是ガ立チ行クノデアリマスガ、現
在ニ於キマシテハ乳ノ値段ガタツ五錢ニ
ナッテ仕舞タノデアリマス、是ハ即チ拓殖計
畫ノ誤リカラ、農民ニ非常ナ氣ノ毒ナ目ニ
遭ハセルヤウナコトニナッテ仕舞タ、折角
其事ハ、悉ク裏切ラレテ仕舞タノデアリ
マス、是モ矢張リ此無法ナ補助計畫ト云フ
モノガ大キナ害ヲ爲シテ居ルト存ジマス、
殊ニ此酪農事業ヲ非常ナ危険ナ狀態ニ陥レ
マシタモノハ、是ハ政黨ノ黨弊ト云フモノ
ヲ最モ露骨ニ現ハシタ其モノハ、北海道製
酪販賣組合聯合會ト云フモノニ無法ナル補

アリマシテ、其成績ヲ見マスト、過去ノ昭和五年末ノ成績ヲ見マスト、過去ノ五年間ニ農林省及北海道廳ノ與ヘマシタ補助ガ五ヶ年ニ約三十五万圓、一ヶ年ニ凡ソ七万圓ノ補助ヲ與ヘテ居リマス、ソレニモノ拘ラズ前年度ノ損失ト云フモノガ凡ソ七万圓、五ヶ年ノ負債ノ總額ガ七十萬圓、其他ヲ合セマシテ農民ノ當然負擔トナルモノガ約百二三十万圓モアルノデハナイカト思ヒマス、是ハ全ク、實情ヲ調べテ見マスト、是ハ政黨ノ喰物トナツト云ツヤウナ恰好ニナツテ居リマス、減茶苦茶ナ補助ヲ與ヘテ、サウシテ其結果ハ宜シクナク、農民ニ非常ナ負擔ヲ負ヘシメ、サウシテ此聯合組合ト云フモノガ其「バタ」ノ「ストック」ニ因ツテ投資ヲ致シマシタカラ、其他ノ乳製品會社ト云フモノハ、殆ド立行カナイヤウナ狀態ニ陥テ仕舞タ、北海道ノミナラバマダソレデ宜シイカモ知レマセヌガ、此計畫ガ全國ノ酪農事業ニヒドイ影響ヲ與ヘマシテ、乳ノ値段ガ下ツテ農民ハ愈、大キイ負擔ヲシナケレバナラナイヤウニナツテ參ツタノデアリマス、其結果ハ外國ノ資本ガ這入ツテ「ネ・スル」會社ノ如キハ日本ニ工場ヲ設ケテ、日本ノ製酪事業統制ヲ圖ツテ、サウシテ結局ハ日本ノ農民ヲシテ非常ナ困難ニ陥ラシメルヤウナコトニナリ掛カタノデアリマスガ、幸ニシテ之ヲ喰止メ得タノデアリマスガ、此酪農事業ニ付テノ將來ノ方針ハ、ドウ云フヤウニ才考ヘニナツテ居リマセウカ、斯カル無法ナ補助ヲ與ヘテ、サウシテ乳價ヲ下ゲテ、農民ニ更ニ負擔ヲ多クセシメルコトガ果シテ宣イカ悪イカ、ドウ云フ風ナコトニナリマセ

ス、ソレカラ最後ニ今日ノ世相ガ非常ニ險惡ニナリマシテ、「ファシズム」ノ檣頭、或ハ議會否認ノ聲ヲサヘ聞クヤウニナツタノデアリマス、昨年ノ十月以來帝都ニ頻々トシテ起ル不祥事件、遂ニハ一國ノ首相サヘモ其兌變ニ壹レルヤウニナツノデゴザイマス、デスウ云フ風ニナツノハ、一體是ハ何ガスクセシメタノデアルカ、是ハ此原因ハ偶然デハナクテ、私ノ考ヘマス所デハ、寧ロ是ハ政黨ト云フモノノ腐敗、議會ノ暴狀ガ其重大ナル原因ヲ成シテ居ルノデハナカト存ジマス、其結果國民ヲシテ憤激セシメテ、此様ナ不安ナ狀態ニナツテ來タノデハナイカ、一國ノ政治ニ與ル者ガ、私利私慾ノ爲ニ多ク動イタト云フコトガ、國民ヲシテ非常に憤激セシメ、尙ホ國民ヲシテ塗炭ノ苦ミニ陷レタモノデハナイカト思フノデアリマス、暴力沙汰ノ如キモ、寧ロ議會自身ガ其範ヲ示シテ居ルノデハナイカト思フ、最近ノ不祥事件ノ如キモ、其執^フタ行動ハ誤^フテ居リマス、又贊成ハ出來ナイノデアリマスガ、其心持ニ至^フテハ矢張り憂國ノ血ノ逆^フタモノデハナイカト思フノデアリマス、サウデアリマスカラ、如何ニ此不祥事件ヲ防ギ止メヤウト思^フテモ、其根本ヲ忘レテハウシテ之ヲ國民ヲ安泰ナ地位ニ導クコトガ出來ルデゴザイマセウカ、寧ロ根本ヲ忘レテ居^フタナラバ、ソレハ百年河清ヲ待ツ如リマス、即チ根ヲ斷タナケレバ葉が枯レナシモノデアッテ、此後頻々トシテ此不祥事件ハ起ルモノト思ハナケレバナラナイノデアリモノデハナイノデゴザイマセウカ、此點

○國務大臣(後藤文夫君)　只今德川侯爵力ラ農產物ノ我國ノ各地方ニ於ケル分布ノ關係ニ付テ、是マデノヤウナ獎勵ノ仕方デ宜シイカドウカ、單リ北海道ノ米ノ問題ノミナラズ、サウ云フコトヲ全般的ニ考ヘルコトガ必要デハナイカドウカト云フヤウナ趣旨ノ御尋デアリマシタ、是ハ御尤ナ御尋デアリマシテ、今日マデ農業生産物ノ各個ニ對スル獎勵ノ方針ガ、固ヨリ全般ヲ見渡シテソレヘン調和ヲ圖リ調節ヲ取シテ、國內ノ農產物ヲ獎勵發達セシメテ來タニハ相違アリマセヌケレドモ、併シ今後ハ更ニソレ等ノ點ニハ十分ナ注意ヲシナケレバナラヌト思フノデアリマス、或ル場合ニ非常ニ其農產物ノ價ガ高イ、需要ガ多イト云フノデ、急ニ總テノ方面ガ他ノ農產物ノ生産ヲモ止メテ其方ニ集中ヲスル、サウスルト他日ハ又非常ナ暴落ガ來テ、非常ナ悲慘ナ目ニ遭フト云フヤウナ事柄ハ、過去ニ於テ屢々繰返サレテ居ルコトデアリマス、是等ノ點ニ付テハ國家全體ノ氣候風土地味、農產物ニ對スル適否等ヲ考ヘテ、全體ニ一種ノ統制ガアリ秩序ノアル生産ノ行ハルルコトガ最モ望マシイコトデアルト思フノデアリマス、併シ是ハナカノ容易ナ事デアリマセヌ、國家ノ立テル政策ニ於テモサウ云フ點ヲ十分ニ考慮ヲシ、又農民自身ノ考ヘ方ニ於テモ段々改マッテ行ク所ガアッテ、漸次サウ云域ニ進ンデ行カナケレバナラヌト考ヘテ居ル次第デアリマス

○政府委員(佐上信一君) 徳川侯爵ノ北海道ニ關係イタシマスル問題ニ付キマシテ御答へ致シマス、私ハ昨年丁度此凶作ノ眞最中ニ北海道ノ方へ參リマシテ、其當時矢張リ道内ノ各方面ニ於キマシテ、候爵ト同一ナル意見ヲ持ツ者ガ多數アツノデアリマス、北海道ガ米ヲ第二期計畫ニ於テ生産スル方針ヲ立テマシタコトハ、二十年間ニ人口約六百万人ヲ標準ト致シマシテ、水田ノ獎勵ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、現在ニ於テ北海道農民ガ 非常ニ困ヅテ居リマスルコトハ、丁度大正五年ノ米價暴騰ノ後ヲ承ケマシテ、米ノ獎勵ガアリマシテ、同時ニ石三十圓ト云フヤウナ米ノ高直段ノアリマシタ際ニ、北海道ニ於テ水田開發熱ガ一時ニ勃興シテ參リマシテ、當時設計竝ニ土質ノ調査其他ノ關係、只今侯爵ノ御述ベニナリマシク地方ノ適不適ヲ考慮セズシテ、全道各方面ニ土功組合ヲ設ケマシテ、米ノ生産ヲサセマシテ、ソレガ今日ノヤウニ米價暴落ニナリマスルシ、又米ノ植物ノ性質ト致シマシテ、寒帶地方ニ適シナイト云フヤ道ト致シマシテ、農事試驗場竝ニ試驗場支場、其他實習地等ヲ設ケマシテ、其地方ニ居ルコトハ事實ニアリマス、ソレデ北海道ニ努力イタシマスルト共ニ、米ノ生産ノ不適當ナ場所ニ於キマシテハ、矢張リ農牧混同ノ仕事ヲ進メテ行ク、ソレカラ又一方水田地方ニアリマシテモ、矢張リ將來凶作ノ場合ニ於キマシテハ、水田ノミデアリマスル非常ニ打擊ガ大キイノデアリマスル

ノデ、水田ト他トノ適當ナル調和ヲ取フテ行キタイト云フヤウナコトデ參テ居リマシテ、現在ノ方針ト致シマシテハ、大規模ニ開田ヲ致シマスル所ノ土功組合ノ新設ノ如キハ成ルベク之ヲ抑制シテ、サウシテ從來ノ水田ノ改良ト云フコトニ當分ノ間全力ヲ盡シテ行キタイト云フヤウナ考デアリマス、從ヒマシテ只今御話ニナリマシタヤウナ寒帶……寒イ根室原野ノ如キ地方ニハ、米ノ栽培ハ之ヲ獎勵シナイノミナラズ、寧ロ之ヲ抑制スルト云フヤウナ方針ヲ執フテ行キタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ同時ニ畜産ノ獎勵ノ牛馬百万頭計畫デアリマスルガ、是ハ拓殖計畫第二期ノ場合ニ於テ此計畫ヲ遂行シテ行クコトニナフテ居ルノデアリマスガ、是モ矢張リ人口六百万ト云フコトヲ基本ニシテ、此計畫ガ立テラレテアリマスガ、殊ニ此牛ノ方ノ獎勵ノ如キモノハ、此牛ヨリ生ズル所ノ厩肥、堆肥ト云フヤウナモノヲ農家ガ利用スルト云フヤウナコトヲ主トシテ方針ヲ立ツタノデアリマスガ、農民ガ非常ニ利益ノ早ク上ル方ニ著目スル結果、主トシテ乳牛ノ方ニ對シテ農民ガ非常ニ熱心ニナフタト云フコトハ、丁度今乳牛ガ四万頭デアリマシテ、其四万頭ノ乳牛デアリマシテモ既ニ生産過剩ノヤウナ狀態ニナフテ居リマス、同時ニ乳牛ハ其程度デアリマスガ、所謂肉牛ト云フモノ殆ド農民ガソレヲ飼養シナイ、百万頭ノ計畫ノ如キモノモ、或ル程度ノ改訂ハ必要ダト思ヒマスガ、現在ノ計畫ニ於キマシテモ、此統制ヲ十分ニ致シテ參リマスルナラバ、今日ノ如キ此牛乳ガ生産過剩ニナルヤウナ所謂

馬シテ、農村ハソレガ爲ニ肥料ノ自給ト云
フヤウナコトモ出來マシテ相當ニ節制ヲ加ヘベキ必
要ノアルコトヘ、私モ認メテ居ル次第デア
リマス、ソレカラ最後ニ酪農組合ニ對スル
問題ハ、丁度私昨年赴任イタシマシタ際ニ、
道内ニ於テ製酪聯合組合ト云フモノト、乳
製品會社トノ間ニ、利害ガ衝突イタシマシテ、
只今侯爵ノ御述ベニナリマシタヤウナ論議
ガ盛シニ行ヘレテ居ツタノデアリマス、然ル
所酪農組合、製酪聯合組合ト云フモノハ、
北海道ノ各地方ニ於ケル産業組合組織ノ酪
農組合ヲ統一シタル團體デアリマシテ、組
合員ハ農民ガ悉ク加入シテ居ルノデアリマ
ス、一方ニ於キマシテハ其酪農地帶ノ外ニ、
會社ガ一ツノ集乳區域ヲ設ケテ居リマシ
テ、互ニ相對抗シテ居ツタノデアリマス、ソ
レガ爲ニ兩者ノ間ガ圓滑ニ行カナイ、是方
爲ニ屢々紛議ヲ生ジタ、是方昨年ノ丁度十一
月デアリマシタガ、各會社ガ市場ノ非常ニ
不景氣ノ結果、乳製品製造ノ制限ヲ加ヘル
結果、殆ド此乳ノ買入レフ半分ニ制限シタ、
其制限イタシマシタ乳ト云フモノハ、一方
ニ於テ法令ノ規定デ農家ノ造りマスル所ノ
牛乳ハ、牛乳製品ノ原料ニ使ヒマスガ、一
方飲用ニハ之ヲ認メテ居ナイノデアリマ
ス、從ヒマシテ買入制限ニ依ル所ノ乳ノ處
分ト云フモノハ非常ナル道内ノ問題ニナフ
ゲルヤウナコトニ考へテ居ルノデスガ、唯
此百万頭計畫ハ一ツノ理想デアリマシテ、
是ニ付キマシテハ適當ニ節制ヲ加ヘベキ必
要ノアルコトヘ、私モ認メテ居ル次第デア

テ之ヲ消毒シタル場合ニ於テハ市場ニ之ヲ販賣スルコトヲ許スト云フ一ツノ途ヲ開ケマスト同時ニ、會社ト製酪聯合組合トガ協ノ協議ガ、大日本製乳會社、乳製品會社トノ間ニ出來マシテ、近ク他ノ會社トノ間ニモサウ云フ風ナ協定ガ付クコトニナリマスルカラ、將來ハ是等ノ問題ハ悉ク消滅スルコトデハナイカト確信イタシテ居ル次第デアリマス、尙ホ製酪聯合組合ニ對スル補助ニ付キマシテハ、私赴任前ヨリ色ミナ議論ガアツタノデアリマスガ、事實私調査ヲ致シテ見マスルト云フト、一面ニ於テ農民ノ牛乳ヲ處理スル所ノ會社方、其買入ヲ拒絶スルヤウナ場合ニ於テ製酪聯合組合等ノ如キモノガソレヲ引受ケテ、サウンテ委託ニ依リ、若クハ購入イタシマシテ、「バタ」ノ製造ヲ致シテ、サウシテ他方市場ノ景氣ノ回復シタ場合ニ其販賣ヲスルト云フヤウナ、一ツノ調節機關トシテハ、製酪聯合組合ノ如キ會社ト違ヒマシテ、採算ヲ度外シタ所ノ事柄が明白ニナリマシタノデ、殊ニ補助組合ヲ認メナケレバ到底サウ云フヤウナル條件ノ下ニ總テ生産補助ト致シマシテ、サウシテ總テ道民ガ承認スル方法ニ依テマシテ、只今侯爵ノ御述ベニナリマシタヤウナ、黨弊ト云フヤウナコトハ、其間ニ存

在スルコトヲ認メテ居ラヌヤウナ次第デア
リマス

○議長(公爵徳川家達君) 此際請暇ノ件ニ
付キ御諮リヲ致シマス、鍋島侯爵病氣ニ付
キ會期中請暇ノ申出ガゴザイマシタ、之ヲ
許可スルコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認
メマス、本會期中本會議開會ノ場合ニ於テ
常任委員會及特別委員會ヲ開クノ要求アリ
タル時ハ、議長ニ於テ差支ナキト認メタ時
ハ、議院ニ諮ラズシテ之ヲ許スコトニ致シ
タイト存ジマス、是モ御異存ゴザイマセヌ
カ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認
メマス、御異議ガナケレバ本日ハ延會イタ
シマス、次ノ議事日程ハ決定次第本院彙報
ヲ以テ御通知イタシマス、本日ハ是ニテ散
會イタシマス

午前十一時五十七分散會

